

府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）策定のための調査

高齢者日常生活圏域ニーズ調査

調査についてのお願い

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

府中市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きし、平成27年3月に策定を予定しております「府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）」の基礎資料とするために、高齢者福祉全般の調査を実施します。

この調査は、府中市にお住まいの65歳以上（平成25年9月1日現在）で要介護認定を受けていない方及び要支援1から要介護2までの認定を受けている方の中から、2,500名を無作為に選ばせていただき、ご意見やご要望をおうかがいするものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理するとともに、「府中市個人情報の保護に関する条例」に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成25年10月 府中市

記入についてのお願い

1. **封筒のあて名ご本人**について、ご記入をお願いいたします。調査票の設問中の「あなた」とは、封筒のあて名の方を指します。回答はできる限り、あて名ご本人が記入してください。なお、あて名ご本人おひとりでの回答がむずかしい場合は、ご家族や周りの方がお手伝いいただくか、あて名ご本人の意見を聞いたうえで代わりに記入してください。
2. 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
3. お答えをいただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。
の場合は回答内容などを記入してください。
4. ○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。
5. 「その他」に○印をつけられた方は、[]内に具体的な答えを記入してください。

調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

11月11日（月）までにご返送ください。

調査についてご質問などがありましたら、次までお問い合わせください。

【問合せ先】

府中市福祉保健部高齢者支援課地域支援係

TEL 042-335-4011（直通）

おしらせ

この調査の結果については、平成 26 年 4 月頃に府中市のホームページで公開する他、調査報告書を府中市役所高齢者支援課窓口などに設置いたします。ぜひ、ご覧ください。

府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第 6 期）策定までのスケジュール

府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第 6 期）策定は、この調査結果などを基礎資料とし、市民、学識経験者、団体などから構成された「府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進協議会」で検討を進めながら策定します。

平成 26 年 3 月	この調査も含めた調査報告書を取りまとめます。
平成 26 年 4 月頃	調査報告書を府中市のホームページで公開するとともに、各関係機関に設置します。
平成 26 年秋頃	計画についてパブリックコメントを実施します。 ここでいただいたご意見をもとに計画を再調整します。
平成 27 年 3 月	府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第 6 期)策定します。

なお、現計画（府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定（第 5 期））は、前回の皆さまにご回答いただいたアンケートを基礎資料として策定し、府中市役所高齢者支援課窓口や中央図書館などにてご覧いただけます。

また、以下の府中市のホームページ（<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>）でもご覧いただけます。

◆府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第 5 期）

[府中市ホームページトップページ](#) ⇒ [市政を身近に](#) ⇒ [計画](#)

⇒ [府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第 5 期）](#)

問1 調査票に記入した日をお書きください。

月 日

問2 このアンケートに記入するのは、どなたですか。(1つに○)

(N=1,951)

- | | | |
|-------------------------|---|-------|
| 1. あて名のご本人が記入 | | 71.5% |
| 2. ご家族が記入〔あて名ご本人からみた続柄： | 〕 | 12.8% |
| 3. その他〔具体的に： | 〕 | 0.6% |
| 無回答 | | 15.1% |

あなた（あて名ご本人）のご家族や生活状況について、おたずねします

問3 あなた（あて名ご本人）について記入してください。

(N=1,951)

年齢	〔 <input type="text"/> 〕 歳 ※平成 25 年 9 月 1 日現在の年齢でお答えください。 (平均 76.92 歳)				
性別 (1つに○)	1. 男性 38.6%	2. 女性 60.6%	無回答 0.7%		
生年月日	明治・大正・昭和	〔 <input type="text"/> 〕 年	〔 <input type="text"/> 〕 月	〔 <input type="text"/> 〕 日	

問4 あなたはどちらにお住まいですか。 内にご記入ください。

(N=1,951)

町 丁目

- | | | | | | |
|------|-------|------|-------|-----|------|
| 第一地区 | 18.1% | 第四地区 | 11.8% | 無回答 | 1.1% |
| 第二地区 | 19.4% | 第五地区 | 14.4% | | |
| 第三地区 | 18.9% | 第六地区 | 16.4% | | |

第一地区：多磨町、朝日町、紅葉丘、白糸台（1～3丁目）、若松町、浅間町、緑町
 第二地区：白糸台（4～6丁目）、押立町、小柳町、八幡町、清水が丘、是政
 第三地区：天神町、幸町、府中町、寿町、晴見町、栄町、新町
 第四地区：宮町、日吉町、矢崎町、南町、本町、片町、宮西町
 第五地区：日鋼町、武蔵台、北山町、西原町、美好町（1～2丁目）、本宿町（3～4丁目）、西府町（3～4丁目）、東芝町
 第六地区：美好町（3丁目）、分梅町、住吉町、四谷、日新町、本宿町（1～2丁目）、西府町（1～2、5丁目）

問5 家族構成を教えてください。(1つに○)

(N=1,951)

- | | | |
|-----------|-----------|-------|
| 1. 一人暮らし | →問6 へ進む | 16.5% |
| 2. 家族など同居 | →問5-1 へ進む | 80.6% |
| 3. その他 | →問6 へ進む | 1.5% |
| 無回答 | | 1.4% |

問5-1 問5で「2. 家族などと同居」と答えた方におたずねします。

①ご自分を含めて何人で暮らしていますか。 に具体的に数字を記入してください。

(n=1,573)

人 (平均 2.86人)

②同居されている方はどなたですか。(いくつでも○)

(n=1,573)

1. 配偶者(夫・妻)	70.6%	5. 孫	14.7%
2. 息子	34.5%	6. 兄弟姉妹	2.3%
3. 娘	21.6%	7. その他〔具体的に： 〕	4.1%
4. 子の配偶者	11.3%	無回答	2.8%

③日中、一人になられることがありますか。(1つに○)

(n=1,573)

1. よくある	34.9%	3. ない	17.1%
2. たまにある	46.0%	無回答	2.0%

問6 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つに○)

(N=1,951)

1. 必要ない	→問7へ進む	69.3%
2. 必要だが、現在は受けていない	→問6-1へ進む	6.1%
3. 受けている	→問6-1へ進む	21.8%
無回答		2.8%

問6-1 問6で「2. 必要だが、現在は受けていない」、「3. 受けている」と答えた方におたずねします。

介護・介助が必要になった主な原因はつぎのどれですか。(いくつでも○)

(n=545)

1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞など)	14.3%	8. 糖尿病	9.4%
2. 心臓病	13.2%	9. 視覚・聴覚障害	9.9%
3. がん(悪性新生物)	7.2%	10. 骨折・転倒	16.9%
4. 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎など)	6.1%	11. 脊椎損傷	10.5%
5. 関節の病気(リウマチなど)	11.2%	12. 高齢による衰弱	26.4%
6. 認知症(アルツハイマー病など)	14.7%	13. その他〔具体的に：〕	19.1%
7. パーキンソン病	3.1%	14. 不明	0.4%
		無回答	5.1%

→問7へ進む

問6-2 問6で「3. 受けている」と答えた方におたずねします。

①主にどなたの介護・介助を受けていますか。(1つに○)

(n=426)

1. 配偶者(夫・妻)	24.9%	5. 孫	0.0%
2. 息子	6.8%	6. 兄弟・姉妹	1.4%
3. 娘	17.4%	7. 介護保険サービスのヘルパー	15.0%
4. 子の配偶者	3.3%	8. その他〔具体的に: 〕	7.7%
		無回答	23.5%

②主に介護・介助をしている方の年齢は、次のどれですか。(1つに○)

(n=426)

1. 65歳未満	38.5%	3. 75~84歳	20.2%
2. 65~74歳	17.8%	4. 85歳以上	6.1%
		無回答	17.4%

問7 あなたの現在の要介護度をお答えください。(1つに○)

*平成25年9月1日現在の状況でお答えください。更新申請中などの理由で、結果が出ていない方は、わかっている介護度でお答えください。

(N=1,951)

1. 要介護認定を受けていない	45.3%	4. 要介護1	9.9%
2. 要支援1	9.2%	5. 要介護2	6.2%
3. 要支援2	7.5%	6. わからない	1.5%
		無回答	20.3%

問8 年金の種類は次のどれですか

(N=1,951)

1. 国民年金	40.2%	4. 共済年金	5.2%
2. 厚生年金(企業年金あり)	16.9%	5. 無年金	2.4%
3. 厚生年金(企業年金なし)	13.9%	6. その他	1.0%
		無回答	20.5%

問9 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

(N=1,951)

1. 苦しい	14.5%	3. ややゆとりがある	38.0%
2. やや苦しい	37.2%	4. ゆとりがある	5.8%
		無回答	4.6%

住まいについて、お聞きします

問10 現在のお住まいは、次のどれにあたりますか。(1つに○)

(N=1,951)

1. 持ち家の一戸建て	75.1%	5. 公的賃貸住宅	5.8%
2. 持ち家の集合住宅	9.2%	6. 高齢者向け住宅	0.9%
3. 民間賃貸の一戸建て	1.4%	(有料老人ホーム、高齢者マンションなど)	
4. 民間賃貸の集合住宅	4.4%	7. その他〔具体的に： 〕	1.4%
		無回答	1.7%

問11 あなたが主に生活している部屋は2階以上にありますか。(1つに○)

(N=1,951)

1. はい	→問 11-1 へ進む	37.4%
2. いいえ	→問 12 へ進む	56.6%
無回答		6.0%

問 11-1 問 11 で「1. はい」と答えた方におたずねします。

お住まいにエレベーターは設置されていますか。(1つに○)

(n=730)

1. はい	23.6%	2. いいえ	73.8%	無回答	2.6%
-------	-------	--------	-------	-----	------

身体状況や外出状況について、おたずねします

問12 身体状況や外出状況についてお聞きします。(1)～(6)のそれぞれの項目について、あてはまるものに1つずつ○をつけてください。

	はい	いいえ	無回答
(N=1,951)			
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っている	45.9%	46.3%	7.7%
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ちあがっている	62.2%	31.7%	6.2%
(3) 15分位続けて歩いている	70.2%	23.1%	6.8%
(4) 5m以上歩ける	87.9%	5.4%	6.7%
(5) 週に1回以上は外出している	81.3%	13.3%	5.4%
(6) 昨年と比べて外出の回数が減っている	36.5%	57.7%	5.7%

問13 外出を控えていますか。(1つに○)

(N=1,951)

- | | | |
|--------|-------------|-------|
| 1. はい | →問 13-1 へ進む | 32.6% |
| 2. いいえ | →問 14 へ進む | 62.9% |
| 無回答 | | 4.5% |

問 13-1 問 13で「1. はい」と答えた方にお聞きします。

外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも○)

(n=636)

- | | | | |
|-------------------|-------|-----------------|-------|
| 1. 病気 | 23.4% | 6. 目の障害 | 11.0% |
| 2. 障害(脳卒中の後遺症など) | 7.1% | 7. 外での楽しみがない | 12.9% |
| 3. 足腰などの痛み | 61.5% | 8. 経済的に出られない | 4.9% |
| 4. トイレの心配(失禁など) | 20.9% | 9. 交通手段がない | 8.8% |
| 5. 耳の障害(聞こえの問題など) | 12.7% | 10. その他〔具体的に: 〕 | 16.0% |
| | | 無回答 | 3.0% |

問14 それぞれの項目の外出の頻度はどのくらいですか。((1)、(2) 1つずつ○をつけてください)

(N=1,951)	ほぼ毎日	程度 週 4 ~ 5 日	程度 週 2 ~ 3 日	週 1 日 程度	週 1 日 未 満	無 回 答
(1) 買い物	21.8%	13.8%	24.8%	11.2%	11.6%	16.9%
(2) 散歩	23.7%	10.0%	15.5%	8.4%	17.0%	25.3%

問15 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも○)

(N=1,951)

- | | | | |
|------------------|-------|----------------|-------|
| 1. 徒歩 | 67.0% | 8. 病院や施設の送迎バス | 6.0% |
| 2. 自転車 | 46.3% | 9. 車いす | 3.0% |
| 3. バイク | 1.2% | 10. 電動車いす(カート) | 0.6% |
| 4. 自動車(自分で運転) | 20.3% | 11. 歩行器・シルバーカー | 3.8% |
| 5. 自動車(人に乗せてもらう) | 24.8% | 12. タクシー | 22.1% |
| 6. 電車 | 39.1% | 13. その他 | 2.2% |
| 7. 路線バス・ちゅうバス | 40.8% | 〔具体的に: 〕 | |
| | | 無回答 | 1.9% |

転倒について、おたずねします

問16 転倒についてお聞きします。(1)～(5)のそれぞれの項目について、あてはまるものに1つずつ○をつけてください。

(N=1,951)	はい	いいえ	無回答
(1) この1年間に転んだことがある	27.3%	66.6%	6.0%
(2) 転倒に対する不安が大きい	44.3%	46.0%	9.7%
(3) 背中が丸くなってきた	34.8%	53.8%	11.4%
(4) 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思う	61.6%	32.2%	6.2%
(5) 杖を使っている	23.6%	66.2%	10.3%

身長・体重について、おたずねします

問17 6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(1つに○)

(N=1,951)

1. はい	16.7%	2. いいえ	79.1%
		無回答	4.3%

問18 あなた(あて名ご本人)の身長、体重を教えてください。

に具体的に数字を記入してください。

(N=1,951)

身長 <input style="width: 100px; height: 30px;" type="text"/> cm	体重 <input style="width: 100px; height: 30px;" type="text"/> kg
(平均 155.32cm)	(平均 54.51kg)

口腔（お口の状態）や栄養について、おたずねします

問19 お口の状態についておたずねします。(1)～(5)のそれぞれの項目について、あてはまるものに1つずつ○をつけてください。

(N=1,951)	はい	いいえ	無回答
(1) 半年前に比べて固いものが食べにくくなった	34.6%	60.1%	5.3%
(2) お茶や汁物などでむせることがある	24.1%	69.7%	6.3%
(3) 口の渇きが気になる	27.4%	65.8%	6.9%
(4) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日している	78.1%	17.6%	4.3%
(5) 定期的に歯科受診（健診を含む）をしている	47.7%	46.6%	5.7%

問20 あなたは、入れ歯を使用していますか。(1つに○)

(N=1,951)

1. 使用している →問 20-1 へ進む	60.9%
2. 使用していない →問 21 へ進む	36.6%
無回答	2.5%

問 20-1 問 20 で「1. 使用している」と回答した方にお聞きします。

①入れ歯の噛み合わせは良いですか。(1つに○)

(n=1,188)

1. はい	79.5%	2. いいえ	18.8%	無回答	1.7%
-------	-------	--------	-------	-----	------

②毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つに○)

(n=1,188)

1. はい	91.5%	2. いいえ	6.9%	無回答	1.6%
-------	-------	--------	------	-----	------

問21 1日の食事の回数は何回ですか。(1つに○)

(N=1,951)

1. 朝昼晩の3食	89.6%	4. 昼晩の2食	3.3%
2. 朝晩の2食	4.0%	5. 1食	0.2%
3. 朝昼の2食	0.5%	6. その他〔具体的に： 〕	0.8%
		無回答	1.7%

問22 食事を抜くことがありますか。(1つに○)

(N=1,951)

1. 毎日ある	1.1%	3. 月に何度かある	9.3%
2. 週に何度かある	5.0%	4. ほとんどない	82.6%
		無回答	2.0%

問23 自分一人でなく、どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(1つに○)

(N=1,951)

- | | | | |
|------------|-------|---------------------|------|
| 1. 毎日ある | 60.4% | 4. 年に何度かある | 8.0% |
| 2. 週に何度かある | 10.4% | 5. ほとんどない →問 24 へ進む | 5.8% |
| 3. 月に何度かある | 12.6% | 無回答 | 2.7% |

※「1. 毎日ある」～「4. 年に何度かある」とお答えした方は問 23-1 へ進む

問 23-1 どなたかと食事をとにもする機会がある方にお聞きします。

食事をする相手はどなたですか。(いくつでも○)

(n=1,784)

- | | | | |
|------------|-------|----------------|------|
| 1. 家族 | 81.9% | 3. デイサービスの仲間 | 6.4% |
| 2. 近所の人や友人 | 20.6% | 4. その他〔具体的に： 〕 | 8.0% |
| | | 無回答 | 5.4% |

物忘れについて、おたずねします

問24 物忘れについてお聞きします。(1)～(4)のそれぞれの項目について、あてはまるものに1つずつ○をつけてください。

(N=1,951)	はい	いいえ	無回答
(1) 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされる	18.3%	74.7%	7.0%
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしている	75.5%	20.7%	3.8%
(3) 今日が何月何日かわからないときがある	26.4%	69.5%	4.2%
(4) 5分前のことが思い出せる	76.6%	19.1%	4.4%

問25 その日の生活(食事をする、衣服を選ぶなど)を自分で判断できますか。

(1つに○)

(N=1,951)

- | | |
|---------------------------|-------|
| 1. 困難なくできる | 80.4% |
| 2. いくらか困難であるが、できる | 13.0% |
| 3. 判断するときに、他人からの合図や見守りが必要 | 2.8% |
| 4. ほとんど判断できない | 0.8% |
| 無回答 | 3.0% |

問26 人に自分の考えをうまく伝えられますか。(1つに○)

(N=1,951)

- | | |
|---------------------|-------|
| 1. 伝えられる | 80.1% |
| 2. いくらか困難であるが、伝えられる | 15.0% |
| 3. あまり伝えられない | 2.5% |
| 4. ほとんど伝えられない | 0.6% |
| 無回答 | 1.8% |

日常生活について、お聞きします

問27 日常生活についてお聞きします。(1)～(5)のそれぞれの項目について、あてはまるものに1つずつ○をつけてください。

	できる、むしろ	できるけどしていない	できない	無回答
(N=1,951)				
(1) バスや電車で一人で外出している(自家用車でも可)	73.0%	7.4%	15.8%	3.7%
(2) 日用品の買物をしている	71.0%	11.8%	13.2%	4.0%
(3) 自分で食事の用意をしている	62.4%	18.9%	15.2%	3.6%
(4) 請求書の支払いをしている	70.1%	14.0%	12.0%	3.8%
(5) 預貯金の出し入れをしている	70.3%	13.7%	12.8%	3.2%

問27-1 問27の(2)で、日用品の買物を「できるけどしていない」、「できない」と回答した方におたずねします。日用品の買物をする人は主にどなたですか。(1つに○)

(n=488)

1. 同居の家族	73.4%	4. 配達を依頼	2.0%
2. 別居の家族	9.2%	5. その他〔具体的に： 〕	3.5%
3. ヘルパー	3.3%	無回答	8.6%

問27-2 問27(3)で、自分で食事の用意を「できるけどしていない」、「できない」答えた方におたずねします。食事の用意をする人は主にどなたですか。(1つに○)

(n=664)

1. 同居の家族	84.0%	4. 配食サービス利用	3.0%
2. 別居の家族	2.9%	5. その他〔具体的に： 〕	3.6%
3. ヘルパー	1.4%	無回答	5.1%

問28 食事は自分で食べることができますか。(1つに○)

(N=1,951)

1. できる	96.5%
2. 一部介助(おかずを切ってもらうなど)があればできる	1.4%
3. できない	0.2%
無回答	1.9%

問29	寝床に入るとき、何らかの介助を受けていますか。(1つに○) (N=1,951)			
	1. 受けていない	95.6%	3. 全面的な介助が必要	0.4%
	2. 一部介助があればできる	2.6%	無回答	1.4%
問30	座っていることができますか。(1つに○) (N=1,951)			
	1. できる	91.2%	3. できない	4.3%
	2. 支えが必要	2.7%	無回答	1.8%
問31	自分で洗面や歯磨きができますか。(1つに○) (N=1,951)			
	1. できる	97.7%	3. できない	0.2%
	2. 一部介助があればできる	1.5%	無回答	0.7%
問32	自分でトイレに行き用をたすことができますか。(1つに○) (N=1,951)			
	1. できる	97.8%	3. できない	0.2%
	2. 一部介助(他人に支えてもらう)があればできる	1.3%	無回答	0.7%
問33	自分で入浴ができますか。(1つに○) (N=1,951)			
	1. できる	91.2%	3. できない	2.3%
	2. 一部介助(他人に支えてもらう)があればできる	5.7%	無回答	0.8%
問34	50m以上歩けますか。(1つに○) (N=1,951)			
	1. できる	88.5%	3. できない	5.5%
	2. 一部介助(他人に支えてもらう)があればできる	4.9%	無回答	1.1%
問35	階段を昇り降りできますか。(1つに○) (N=1,951)			
	1. できる	84.6%	3. できない	5.3%
	2. 介助があればできる	8.5%	無回答	1.6%
問36	自分で着替えができますか。(1つに○) (N=1,951)			
	1. できる	95.4%	3. できない	0.4%
	2. 介助があればできる	3.2%	無回答	0.9%
問37	大便の失敗がありますか。(1つに○) (N=1,951)			
	1. ない	89.0%	3. よくある	1.0%
	2. ときどきある	8.6%	無回答	1.4%
問38	尿もれや尿失禁がありますか。(1つに○) (N=1,951)			
	1. ない	67.4%	3. よくある	3.8%
	2. ときどきある	27.6%	無回答	1.1%
問39	家事全般はできていますか。(1つに○) (N=1,951)			
	1. できている	71.6%	2. できていない	26.2%
			無回答	2.2%

社会参加について、おたずねします

問40 社会参加についてお聞きします。(1)～(6)のそれぞれの項目について、あてはまるものに1つずつ○をつけてください。

(N=1,951)	はい	いいえ	無回答
(1) 市役所や病院などに出す書類（年金などの書類）が書ける	77.9%	19.0%	3.2%
(2) 新聞を読んでいる	84.2%	12.9%	2.9%
(3) 本や雑誌を読んでいる	72.3%	23.5%	4.2%
(4) 健康についての記事や番組に関心がある	84.6%	11.9%	3.5%
(5) 友人の家を訪ねている	45.5%	49.6%	5.0%
(6) 家族や友人の相談にのっている	66.7%	28.1%	5.2%

問41 何かあったときに、家族や友人・知人などに相談をしていますか。(1つに○)

(N=1,951)

1. はい	→問 41-1 へ進む	91.0%
2. いいえ	→問 42 へ進む	7.4%
無回答		1.6%

問 41-1 問 41 で「1. はい」と回答した方にお聞きします。

何かあったときに相談する人や機関はどれですか。(いくつでも○)

(n=1,775)

1. 配偶者（夫・妻）	56.8%	9. 町内会・自治会	4.5%
2. 息子	52.1%	10. 老人クラブ	2.3%
3. 娘	54.0%	11. 社会福祉協議会	2.2%
4. 子の配偶者	14.7%	12. 地域包括支援センター*	7.3%
5. 兄弟・姉妹	24.7%	13. ケアマネジャー	12.7%
6. 友人・知人	31.0%	（介護支援専門員）	
7. 医師・歯科医師・看護師	25.4%	14. 府中市役所	7.9%
8. 民生委員	3.0%	15. その他〔具体的に： 〕	2.5%
		無回答	0.3%

※ 地域包括支援センター：保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーが中心となって、介護予防事業のマネジメント、総合的な相談・支援、虐待防止などの権利擁護などを行う。府中市では、市内11ヶ所の地域包括支援センターが活動している。

問42 日常生活についてお聞きします。(1)～(4)のそれぞれの項目について、あてはまるものに1つずつ○をつけてください。

(N=1,951)	はい	いいえ	無回答
(1) 病人を見舞うことができる	74.5%	18.7%	6.8%
(2) 若い人に自分から話しかけることがある	71.6%	21.0%	7.4%
(3) 趣味がある	70.5%	21.9%	7.6%
(4) 生きがいがある	70.2%	19.6%	10.1%

問43 地域活動などに参加していますか。(いくつでも○)

(N=1,951)

1. 祭・行事	17.9%
2. 町内会・自治会	25.4%
3. サークル・自主グループ(住民グループ)	18.6%
4. 老人クラブ	11.6%
5. ボランティア活動	8.7%
6. その他〔具体的に： 〕	5.2%
7. 参加していない	42.0%
無回答	9.0%

問44 次のような会・グループなどにどのくらいの頻度で参加していますか。(1)～(7)それぞれの項目について、あてはまるものに1つずつ○をつけてください。

(N=1,951)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	ない	参加していない	無回答
(1) ボランティアのグループ	0.7%	1.3%	1.9%	2.8%	3.3%	51.9%	38.1%	
(2) スポーツ関係のグループやクラブ	2.7%	5.1%	5.7%	3.6%	2.6%	46.4%	34.0%	
(3) 趣味関係のグループ	1.6%	5.1%	7.2%	10.1%	4.9%	41.6%	29.5%	
(4) 老人クラブ	0.6%	1.4%	1.5%	3.1%	5.1%	50.5%	37.8%	
(5) 町内会・自治会	0.3%	0.7%	0.7%	4.7%	18.1%	41.6%	33.9%	
(6) 学習・教養サークル	0.5%	0.8%	1.5%	3.0%	2.8%	51.5%	40.0%	
(7) その他の団体や会	0.7%	1.1%	1.6%	3.3%	6.6%	47.1%	39.7%	

問45 次のような活動（社会参加活動や仕事）をしていますか。（いくつでも○）

(N=1,951)

1. 見守りが必要な高齢者を支援する活動	3.1%
2. 介護が必要な高齢者を支援する活動	2.1%
3. 子どもを育てている親を支援する活動	2.1%
4. 地域の生活環境の改善美化活動	5.5%
5. 収入のある仕事	13.5%
6. していない	61.4%
無回答	17.4%

問46 あなたとまわりの人の「助け合い」についておうかがいます。あてはまるものすべてに○をしてください。あてはまる人がいない場合は「8. そのような人はいない」に○をしてください。

	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	孫	兄弟姉妹・親戚・親	近隣	友人	その他 〔具体的に記入〕	そのような人はいない	無回答
(N=1,951)										
(1) あなたの心配ごとや愚痴（ぐち）を聞いてくれる人	47.7%	24.0%	33.3%	24.6%	7.4%	29.5%	3.1%	4.5%	7.3%	
(2) 反対に、あなたが心配毎や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人	36.3%	17.0%	24.2%	23.2%	9.6%	30.6%	2.2%	12.7%	13.2%	
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人	48.4%	28.4%	27.6%	11.5%	2.0%	3.7%	4.6%	5.7%	7.9%	
(4) 反対に、看病や世話をしてくれる人	40.4%	14.9%	13.0%	13.5%	2.1%	4.3%	2.7%	25.4%	16.2%	

問47 友人関係についておうかがいします。

(1) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（1つに○）

(N=1,951)

1. 週4回以上	11.1%	4. 月1～3回	19.9%
2. 週2～3日	15.9%	5. 年に数回	18.8%
3. 週1回	10.9%	6. 会っていない	16.5%
		無回答	6.9%

(2) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(1つに〇)

(N=1,951)

1. 0人(いない)	15.5%	4. 6~9人	11.1%
2. 1~2人	22.1%	5. 10人以上	24.7%
3. 3~5人	21.8%	無回答	4.8%

(3) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも〇)

(N=1,951)

1. 近所・同じ地域の人	50.2%	5. 趣味や関心が同じ友人	36.9%
2. 幼なじみ	7.1%	6. ボランティアなどの活動での友人	7.0%
3. 学生時代の友人	12.5%	7. その他〔具体的に： 〕	7.5%
4. 仕事での同僚・元同僚	24.9%	8. いない	9.8%
		無回答	5.9%

健康状態について、おたずねします

問48 普段、ご自分で健康だと思えますか。(1つに〇)

(N=1,951)

1. とても健康である	12.0%
2. まあまあ健康である	58.9%
3. あまり健康でない	17.4%
4. 健康でない	9.1%
無回答	2.5%

問49 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも〇)

(N=1,951)

1. 高血圧	40.6%	10. 外傷(転倒・骨折など)	5.5%
2. 脳卒中(脳出血・脳梗塞など)	6.3%	11. がん(悪性新生物)	4.5%
3. 心臓病	11.8%	12. 血液・免疫の病気	1.0%
4. 糖尿病	12.0%	13. うつ病	1.7%
5. 高脂血症(脂質異常)	12.9%	14. 認知症	4.5%
6. 呼吸器の病気 (肺炎・気管支炎など)	4.9%	(アルツハイマー病など)	
7. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	8.7%	15. パーキンソン病	1.1%
8. 腎臓・前立腺の病気	7.8%	16. 目の病気	22.2%
9. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症・関節炎など)	17.2%	17. 耳の病気	7.0%
		18. その他〔具体的に： 〕	12.0%
		19. ない	11.8%
		無回答	6.6%

問50 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか。(1つに○)

(N=1,951)

1. 1種類	12.5%	4. 4種類	6.9%
2. 2種類	15.4%	5. 5種類以上	29.9%
3. 3種類	14.1%	6. 飲んでいない	16.9%
		無回答	4.3%

問51 現在、病院・医院（診療所、クリニック）に通院していますか。(1つに○)

(N=1,951)

1. はい	→問 51-1 へ進む	82.9%
2. いいえ	→問 52 へ進む	15.2%
	無回答	1.8%

問 51-1 問 51 で「1. はい」と答えた方にお聞きします。

① 通院の頻度は次のどれですか。(1つに○)

(n=1,618)

1. 週1回以上	7.7%	4. 2か月に1回程度	10.4%
2. 月2～3回	19.2%	5. 3か月に1回程度	6.7%
3. 月1回程度	50.7%	無回答	5.2%

② 通院に付き添いが必要ですか。(1つに○)

(n=1,618)

1. はい	22.9%	2. いいえ	73.7%	無回答	3.4%
-------	-------	--------	-------	-----	------

③ 現在、次の福祉や医療のサービスを利用していますか。(いくつでも○)

(n=1,618)

1. 訪問診療（医師の訪問）	1.4%	11. 夜間訪問型訪問介護	0.0%
2. 訪問介護	2.5%	12. 定期巡回・随時対応型訪問 介護看護	0.3%
3. 訪問入浴介護	1.3%	13. 小規模多機能型居宅介護	0.2%
4. 訪問看護	0.9%	14. 複合型サービス	0.1%
5. 訪問リハビリテーション	1.4%	15. 短期入所（ショートステイ）	1.4%
6. 通所介護（デイサービス）	9.8%	16. 医師や薬剤師などによる療 養上の指導	3.3%
7. 通所リハビリテーション	5.0%	（居宅療養管理指導）	
8. 住宅改修	3.8%	17. その他〔具体的に： 〕	8.2%
9. 福祉用具貸与	6.1%	無回答	67.7%
10. 認知症対応型通所介護 （認知症デイサービス）	1.0%		

問52 お酒は飲みますか。(1つに○)

(N=1,951)

1. ほぼ毎日飲む	18.9%	3. ほとんど飲まない	11.5%
2. 時々飲む(月に数回程度)	15.0%	(数ヶ月に1回程度)	
		4. 飲まない	53.0%
		無回答	1.6%

問53 タバコは吸っていますか。(1つに○)

(N=1,951)

1. ほぼ毎日吸っている	7.9%	3. 吸っていたがやめた	29.3%
2. 時々吸っている	1.6%	4. 吸ったことがない	57.4%
		無回答	3.8%

問54 ここ2週間の気持ちについてお聞きします。(1)～(5)のそれぞれの項目について、あてはまるものに1つずつ○をつけてください。

(N=1,951)

	はい	いいえ	無回答
(1) 毎日の生活に充実感がない	25.8%	60.9%	13.3%
(2) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	25.1%	61.7%	13.2%
(3) 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる	49.7%	41.2%	9.1%
(4) 自分が役に立つ人間だと思えない	23.0%	64.1%	12.9%
(5) わけもなく疲れたような感じがする	35.0%	53.8%	11.2%

問55 最後に、高齢者保健福祉や介護保険について、府中市へのご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

グループインタビューにご参加していただける方のみ お答えください

※府中市では、市民の皆様の声を反映した計画を策定するため、平成 25 年 12 月頃にグループインタビューの実施を予定しております。ご参加いただける場合は、お手数ですが、下記にお名前、住所、連絡先（電話番号、FAX 番号）をご記入ください。日時・場所など詳細が決まりましたら、あらためてご連絡させていただきます。なお、参加者が多数の場合は、お断りさせていただく場合もございますので、予めご了承ください。

お 名 前	あて名ご本人	
	ご家族	
住 所		
電 話 番 号		
FAX 番 号		

※ご家族が希望される場合、あて名ご本人のお名前もお書きください。

——ご協力ありがとうございました——

府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）策定のための調査

介護保険サービス提供事業者調査

調査についてのお願い

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

府中市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きし、平成 27 年 3 月に策定を予定しております「府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）」の基礎資料とするために、高齢者福祉全般の調査を実施します。

この調査は、府中市内で介護予防・居宅介護サービスを提供する事業者及び施設サービス提供事業者をお願いをさせていただき、実施するものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理するとともに、府中市個人情報の保護に関する条例に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成 25 年 10 月 府中市

記入についてのお願い

1. 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
2. ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてください。
3. 質問によっては、○をつける選択肢の番号を「1つに○」、「いくつでも○」などと指定している場合は、指定の範囲内で○をつけてください。また、「その他」をお選びいただいた場合には、お手数ですが（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
4. 質問によっては、ご回答いただく方が限られる場合がありますので、矢印（→）やことわり書きなど、次にご回答いただく質問番号への案内にご注意ください。

記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

11月11日（月）までにご返送ください。

調査についてご質問などがありましたら、次までお問い合わせください。

【問合せ先】

府中市福祉保健部高齢者支援課地域支援係
TEL 042-335-4011（直通）

おしらせ

この調査の結果については、平成 26 年 4 月頃に府中市のホームページで公開する他、調査報告書を府中市役所高齢者支援課窓口などに設置いたします。ぜひ、ご覧ください。

府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第 6 期）策定までのスケジュール

府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第 6 期）策定は、この調査結果などを基礎資料とし、市民、学識経験者、団体などから構成された「府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進協議会」で検討を進めながら策定します。

平成 26 年 3 月	この調査も含めた調査報告書を取りまとめます。
平成 26 年 4 月頃	調査報告書を府中市のホームページで公開するとともに、各関係機関に設置します。
平成 26 年秋頃	計画についてパブリックコメントを実施します。 ここでいただいたご意見をもとに計画を再調整します。
平成 27 年 3 月	府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第 6 期）を策定します。

なお、現計画（府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定（第 5 期））は、前回の皆さまにご回答いただいたアンケートを基礎資料として策定し、府中市役所高齢者支援課窓口や中央図書館などにてご覧いただけます。

また、以下の府中市のホームページ（<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>）でもご覧いただけます。

◆府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第 5 期）

[府中市ホームページトップページ](#) ⇒ [市政を身近に](#) ⇒ [計画](#)

⇒ [府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第 5 期）](#)

貴事業所についておたずねします

問1 貴事業所の所在地はどこですか。所在している地区名をお答えください。

(1つに○)

(N=119)

1. 第1地区	多磨町、朝日町、紅葉丘、白糸台1～3丁目、若松町、浅間町、緑町	16.8%
2. 第2地区	白糸台4～6丁目、押立町、小柳町、八幡町、清水が丘、是政	14.3%
3. 第3地区	天神町、幸町、府中町、寿町、晴見町、栄町、新町	16.8%
4. 第4地区	宮町、日吉町、矢崎町、南町、本町、宮西町、片町	16.8%
5. 第5地区	日鋼町、武蔵台、北山町、西原町、美好町1～2丁目、 本宿町3～4丁目、西府町3～4丁目、東芝町	10.1%
6. 第6地区	美好町3丁目、分梅町、住吉町、四谷、日新町、本宿町1～2丁目、 西府町1～2、5丁目	23.5%
無回答		1.7%

問2 活動状況についてお教えてください。

(N=119)

項目	回答欄			
① 組織形態 (1つに○)	1. 社会福祉法人	26.9%	6. JA・生協	0.8%
	2. 福祉公社・事業団	0.0%	7. 株式会社	37.0%
	3. 社団法人	0.8%	8. 有限会社	6.7%
	4. 財団法人	0.0%	9. NPO	5.0%
	5. 医療法人	16.8%	10. その他〔具体的に：	5.0%
			無回答	0.8%
② 事業所の種類 (1つに○)	1. 訪問介護	24.4%	14. 夜間対応型訪問介護	0.8%
	2. 通所介護	24.4%	15. 定期巡回・随時訪問型訪問介護看護	0.0%
	3. 訪問入浴介護	1.7%	16. 認知症対応型通所介護	5.0%
	4. 訪問看護	5.9%	17. 小規模多機能型居宅介護	1.7%
	5. 訪問リハビリテーション	0.0%	18. 複合型サービス	0.0%
	6. 通所リハビリテーション	4.2%	19. 認知症対応型共同生活介護	5.0%
	7. 居宅療養管理指導	0.0%	20. 地域密着型特定施設入居者生活介護	0.0%
	8. 住宅改修・福祉用具	2.5%	21. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0.0%
	9. 短期入所生活・療養介護	6.7%	22. 居宅介護支援	0.8%
	10. 特定施設入居者生活介護	4.2%	23. その他〔具体的に：	1.7%
	11. 介護老人福祉施設	5.0%	無回答	2.5%
	12. 介護老人保健施設	3.4%		
	13. 介護療養型医療施設	0.0%		
③ 併設する 事業所の種類 (あてはまるもの にすべて○)	1. 地域包括支援センター	22.7%	14. 介護療養型医療施設	0.0%
	2. 訪問介護	22.7%	15. 夜間対応型訪問介護	0.8%
	3. 通所介護	18.5%	16. 定期巡回・随時訪問型訪問介護看護	0.0%
	4. 訪問入浴介護	2.5%	17. 認知症対応型通所介護	10.1%
	5. 訪問看護	7.6%	18. 小規模多機能型居宅介護	0.8%
	6. 訪問リハビリテーション	6.7%	19. 複合型サービス	0.0%
	7. 通所リハビリテーション	8.4%	20. 認知症対応型共同生活介護	1.7%
	8. 居宅療養管理指導	0.8%	21. 地域密着型特定施設入居者生活介護	0.0%
	9. 住宅改修・福祉用具	0.0%	22. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0.0%
	10. 短期入所生活・療養介護	18.5%	23. 居宅介護支援	46.2%
	11. 特定施設入居者生活介護	3.4%	24. その他〔具体的に：	5.9%
	12. 介護老人福祉施設	15.1%	無回答	28.6%
	13. 介護老人保健施設	5.9%		

④ 職員・スタッフ の人数 ※非常勤は常勤 換算でご回答く ださい (n=91)		常 勤	非常勤
	介護支援専門員 うち 専 従 兼 務	平均 1.66 人 平均 0.89 人 平均 1.18 人	平均 1.01 人 平均 0.14 人 平均 0.13 人
事務管理者	平均 0.88 人	平均 0.24 人	
⑤ 職員の資格取得 の状況 (n=113)		常 勤	非常勤
	介護福祉士	平均 5.88 人	平均 2.55 人
	ホームヘルパー	平均 3.14 人	平均 5.69 人
	社会福祉士	平均 0.33 人	平均 0.03 人
	精神保健福祉士	平均 0.08 人	平均 0.00 人
	医師・歯科医師	平均 0.09 人	平均 0.21 人
	保健師・看護師	平均 0.97 人	平均 1.15 人
	管理栄養士・栄養士	平均 0.33 人	平均 0.03 人
	薬剤師	平均 0.00 人	平均 0.04 人
	理学療法士	平均 0.37 人	平均 0.12 人
	作業療法士	平均 0.29 人	平均 0.08 人
	言語聴覚士	平均 0.07 人	平均 0.02 人
	歯科衛生士	平均 0.00 人	平均 0.04 人
	あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師	平均 0.05 人	平均 0.07 人

今後の事業運営についておたずねします

【問3以降、最後まで、問2（2）で○を付けた事業所について回答して下さい】

問3 昨年度の事業の採算はいかがでしたか。お差支えなければお答えください。
(1つに○)

(N=119)

1. 黒字	37.0%	4. その他	5.9%
2. 赤字	32.8%	〔具体的に：	〕
3. 損益なし	14.3%	無回答	10.1%

問4 貴事業所では、今後3年のうちに事業規模についてどのように考えますか。
(1つに○)

(N=119)

1. 拡大予定	30.3%	3. 縮小予定	0.8%
2. 現状維持	50.4%	〔具体的に：	〕
		4. 検討中・わからない	16.0%
		無回答	2.5%

問5 昨年度1年間の職員の離職状況（退職や転職）をお教えてください。また、補充はどのようにしていますか。平成25年9月1日現在でお書きください。

- ※ 「非常勤」の方の平均在職年数は契約更新をした方、離職者数・離職率は、契約途うえで辞めた方の年数・人数を記入してください。
- ※ 「専門職員」は、介護支援専門員やヘルパーなど主な職種のみおたずねしています。
- ※ 「退職」とは、専業主婦（夫）となる場合のほか他産業への転職を含みます。
- ※ 「転職」とは、他の介護保険事業者や医療機関などへ移行することです。

(1) 専門職員の平均在職年数（主たる専門職のみ）

- ※ 資格取得していても、事業所内で当該業務に従事していない方は除きます。（ヘルパー資格をもっている施設の介護職をしている場合など）
- ※ 管理事務業務をしている方も除きます

	常勤		非常勤	
①介護支援専門員	(n=54)	平均 6.70年	(n=14)	平均 1.31年
②看護師	(n=44)	平均 4.27年	(n=51)	平均 3.35年
③福祉施設介護員	(n=46)	平均 5.52年	(n=48)	平均 3.52年
④ホームヘルパー	(n=43)	平均 3.68年	(n=49)	平均 3.18年
⑤理学療法士、作業療法士	(n=31)	平均 2.86年	(n=20)	平均 4.43年

(2) 昨年1年間の職員の離職状況

<離職者数及び離職率（事業所全体）>

	常勤		非常勤	
①離職者総数	(n=100)	平均 2.01人	(n=94)	平均 2.74人
②離職率	(n=76)	平均 11.72%	(n=75)	平均 15.90%

<離職した専門職員の退職者・転職者別平均在職年数（主たる専門職のみ）>

	退職者		転職者	
①介護支援専門員	(n=12)	平均 4.23年	(n=6)	平均 3.47年
②看護師	(n=17)	平均 3.31年	(n=17)	平均 2.98年
③施設介護職員	(n=35)	平均 2.44年	(n=27)	平均 3.26年
④ホームヘルパー	(n=27)	平均 2.23年	(n=21)	平均 1.76年
⑤理学療法士、作業療法士	(n=7)	平均 1.54年	(n=5)	平均 2.00年

(3) 補充策〔具体的に〕

地域密着型事業についておたずねします

問6 今後、参入予定の地域密着型事業はありますか。当てはまるものに○をつけてください。また、「参入意向がない」、または「検討中」の場合は、その理由と参入条件を下段の枠の中から選択してください。(いくつでも○及び選択)
(N=119)

事業名	参入意向の有無			検討中			参入意向無し の理由 (上段) ※
	有	無	無回答	有	無	無回答	条件 (下段) ※
① 夜間対応型訪問介護	1.7%	68.1%	30.3%	1.7%	0.8%	97.5%	【理由】 2、7 【条件】 1、2、4
② 定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	2.5%	68.9%	28.6%	1.7%	0.8%	97.5%	【理由】 2、5 【条件】 1、2、4
③ 認知症対応型通所介護	8.4%	61.3%	30.3%	2.5%	1.7%	95.8%	【理由】 2、7 【条件】 1、2
④ 小規模多機能型居宅介護	4.2%	67.2%	28.6%	0.8%	2.5%	96.6%	【理由】 2、5 【条件】 1、2、3、5
⑤ 複合型サービス	0.8%	67.2%	31.9%	4.2%	0.8%	95.0%	【理由】 5、7 【条件】 1、2
⑥ 認知症対応型共同生活 介護	4.2%	65.5%	30.3%	2.5%	1.7%	95.8%	【理由】 2、7 【条件】 1、2、3
⑦ 地域密着型特定施設入居 者生活介護	0.0%	68.9%	31.1%	0.0%	1.7%	98.3%	【理由】 2、7 【条件】
⑧ 地域密着型介護老人福祉 施設入所者生活介護	1.7%	68.9%	29.4%	0.0%	1.7%	98.3%	【理由】 2、7 【条件】

※多いものの番号を記載

<p>【理由】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人件費が高い 2. 人材が不足 3. 家賃が高い 4. 地代が高い 5. 市場のニーズがわからない 6. 施設を開設する土地や建物について情報が無い 7. その他 [] 無回答 	<p>【条件】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 財政面の公的な支援 2. 人材面の公的な支援 3. 場の提供 4. 市場ニーズの情報提供 5. その他 [] 無回答
--	--

サービス提供における課題をおたずねします

問7 サービス提供で困難だったケースがありましたか。

(N=119)

- | | | |
|------------|------------|-------|
| 1. ある（あった） | →問 7-1 へ進む | 79.8% |
| 2. ない | →問 8 へ進む | 19.3% |
| 無回答 | | 0.8% |

問7-1 問7で「1. ある」と答えた方におたずねします。どのようなケースですか。

(いくつでも〇)

(n=95)

- | | |
|------------------------------------|-------|
| 1. ひとり暮らしで親族と連絡が取りにくいケース | 37.9% |
| 2. 認知症の症状が進行し急変する方のケース | 38.9% |
| 3. 病識がなくサービスの拒否があるケース | 34.7% |
| 4. 胃ろうなどの医療処置を受けているケース | 17.9% |
| 5. ケアプランの内容について本人と家族からの理解が得られないケース | 20.0% |
| 6. ケアプランの内容について本人と家族の意見が合わないケース | 16.8% |
| 7. 必要なサービスが不足していてサービスが受けられないケース | 10.5% |
| 8. 家族に障害や精神疾患があるケース | 41.1% |
| 9. 老老介護、認知介護などの世帯のケース | 36.8% |
| 10. 虐待を受けている、またはその疑いのあるケース | 23.2% |
| 11. 消費者被害や詐欺被害を受けている又はその疑いのあるケース | 7.4% |
| 12. 飲酒や喫煙など生活面で問題があるケース | 25.3% |
| 13. 経済や住宅に困窮し生活支援が必要なケース | 18.9% |
| 14. 利用料滞納者のケース | 31.6% |
| 15. 施設や病院から退所・退院したばかりのケース | 12.6% |
| 16. ターミナルケアを受けているケース | 13.7% |
| 17. その他〔具体的に： 〕 | 15.8% |
| 無回答 | 0.0% |

問8 貴事業所だけでは対応が困難だったケースはどの程度ありますか。(1つに〇)

(N=119)

- | | | | |
|---------------------------------|----------------|--|-------|
| 1. 対応できないケースが多い（50人のうち5人以上） | } →問 9 へ
進む | | 1.7% |
| 2. 対応できないケースが少しある（50人のうち2～4人程度） | | | 26.9% |
| 3. 対応できないケースが若干ある（50人のうち1人程度） | | | 37.0% |
| 4. ほとんどない | → 問 11 へ進む | | 30.3% |
| 無回答 | | | 4.2% |

問9 困難だったケースは貴事業所ではどこかに相談しましたか。(いくつでも〇)

(n=78)

- | | |
|-------------------------------|-------|
| 1. 事業所内で相談した | 70.5% |
| 2. 他事業所の介護支援専門員（ケアマネジャー）に相談した | 69.2% |
| 3. 地域包括支援センターに相談した | 62.8% |
| 4. 高齢者支援課に相談した | 32.1% |
| 5. その他〔具体的に： 〕 | 12.8% |
| 6. 特に相談していない | 1.3% |
| 無回答 | 0.0% |

問10 お差支えなければ、最も困難だったケースの内容をお教えてください。

サービスの質の向上に向けた取組をおたずねします

問11 日ごろ、居宅サービスを提供していくうえで、利用者からの信頼を得るためには何が必要か、お考えをお教えてください。(いくつでも〇)

(N=119)

1. 経営理念・ビジョンの確立	35.3%	7. マニュアルや手引書の整備	37.8%
2. 組織体制	42.0%	8. 利用者への対応	86.6%
3. 人材確保	75.6%	9. 他機関（他事業所など）との連携	50.4%
4. 人材育成（研修・学習会）	80.7%	10. 情報収集及び提供方法	40.3%
5. 法令順守の取組みなど （業務管理体制）	48.7%	11. 個人情報保護	36.1%
6. サービス内容の充実	63.9%	12. その他 無回答	5.0% 3.4%

【その他】具体的に

問12 居宅サービスを受けている利用者からサービスへの要望や意見などがありましたら、お書きください。

問13 現在、貴事業所では質の向上に対する取組をどのように行っていますか。
(いくつでも〇)

(N=119)

1. 第三者評価の実施（サービス自己評価）	39.5%	9. 外部研修会への出席	61.3%
2. 専門家、コンサルタントの活用	9.2%	10. 人材の確保	42.0%
3. ISOなど品質管理に関する 認証取得	9.2%	11. スタッフの資格取得への支援	37.0%
4. 苦情事例などの活用・蓄積	51.3%	12. 事業者間の交流	37.8%
5. 事業所内での検討会	75.6%	13. 事業者連絡会への出席	48.7%
6. 内部研修の充実	71.4%	14. 利用者調査の実施	30.3%
7. OJTの充実	33.6%	15. 介護情報の公表	45.4%
8. 手引書の作成と見直し	43.7%	16. その他〔具体的に： 〕	2.5%
		無回答	1.7%

※「1. 第三者評価の実施」と答えなかった方は問14へ進む

問14 問13で「1. 第三者評価の実施」と答えなかった事業所におたずねします。
 今後、第三者評価を実施する予定はありますか。(1つに○)

(n=70)

- | | | |
|-------------|-----------|-------|
| 1. 実施の予定がある | →問15へ進む | 17.1% |
| 2. 実施の予定はない | →問14-1へ進む | 72.9% |
| 無回答 | | 10.0% |

問14-1 問14で「2. 実施の予定はない」と答えた事業所におたずねします。

その理由は次のうちどれですか。(1つに○)

(n=51)

- | | | |
|-------------------------|---|-------|
| 1. 費用がかかりすぎるから | | 19.6% |
| 2. メリットがよくわからないから | | 25.5% |
| 3. 評価機関の選び方がわからないから | | 2.0% |
| 4. サービスの改善に結びつくかわからないから | | 3.9% |
| 5. 業務が多忙なため | | 23.5% |
| 6. その他〔具体的に： | 〕 | 15.7% |
| 無回答 | | 9.8% |

問15 人材を確保するためどのような取組を行っていますか。(いくつでも○)

(1) 現在の取組

(N=119)

- | | | | |
|--------------|-------|--------------------|-------|
| 1. 新規採用枠の拡大 | 41.2% | 9. 職員間の助け合い制度 | 8.4% |
| 2. 中途採用枠の拡大 | 49.6% | 〔具体的に： | 〕 |
| 3. 就業時間の見直し | 10.1% | 10. 併設・系列事業所内で人員確保 | 32.8% |
| 4. 福利厚生充実 | 18.5% | 11. 社外の協力体制の整備 | 5.0% |
| 5. 賃金面の充実 | 28.6% | 12. 求人広告掲載 | 56.3% |
| 6. 研修会への参加支援 | 41.2% | 13. その他 | 10.9% |
| 7. 資格取得の支援 | 37.8% | 〔具体的に： | 〕 |
| 8. 相談体制の充実 | 22.7% | 無回答 | 6.7% |

(2) 今後の取組

(N=119)

- | | | | |
|--------------|-------|--------------------|-------|
| 1. 新規採用枠の拡大 | 33.6% | 9. 職員間の助け合い制度 | 7.6% |
| 2. 中途採用枠の拡大 | 41.2% | 〔具体的に： | 〕 |
| 3. 就業時間の見直し | 7.6% | 10. 併設・系列事業所内で人員確保 | 28.6% |
| 4. 福利厚生充実 | 22.7% | 11. 社外の協力体制の整備 | 7.6% |
| 5. 賃金面の充実 | 31.9% | 12. 求人広告掲載 | 47.9% |
| 6. 研修会への参加支援 | 32.8% | 13. その他 | 13.4% |
| 7. 資格取得の支援 | 32.8% | 〔具体的に： | 〕 |
| 8. 相談体制の充実 | 29.4% | 無回答 | 11.8% |

問16 研修についておたずねします。

(1) 事業所内での講習会・研修は十分実施できていると思いますか。できていない場合は理由を具体的にお書きください。(1つに○)

(N=119)

1. 十分実施できている	19.3%
2. 十分ではないが実施できている	72.3%
3. ほとんど実施できていない〔理由：	〕 5.9%
4. その他〔具体的に：	〕 0.0%
無回答	2.5%

(2) 外部の研修や事例検討、勉強会について職員が積極的に参加できるよう支援していますか。できていない場合は理由を具体的にお書きください。

(1つに○)

(N=119)

1. 支援している	24.4%
2. 十分でないが支援している	69.7%
3. ほとんど支援していない	0.8%
〔理由：	〕
4. 支援したいができない	3.4%
〔理由：	〕
5. その他	0.0%
〔理由：	〕
無回答	1.7%

サービス利用者の在宅医療の必要性についておたずねします

問17 貴事業所がサービスを提供している利用者の中に、往診*が必要と思われる方はいますか。(1つに○) (*：患者さんの求めに応じて急変時に行う診療)

(N=119)

1. いる→〔	〕人	64.7%	2. いない	27.7%
(平均 8.22人)			無回答	7.6%

問18 貴事業所がサービスを提供している利用者の中に、訪問診療*が必要と思われる方はいますか。(1つに○) (*：通院の困難な患者さん宅に定期的に訪問して行う診療)

(N=119)

1. いる→〔	〕人	68.1%	2. いない	26.1%
(平均 8.61人)			無回答	5.9%

※問17と問18の両方で「2. いない」と答えた方は問20へ進む

問19 問17と問18のどちらか1つでも「1. いる」と答えた事業所におたずねします。貴事業所では、医療処置を必要としている方に往診や訪問診療が十分行われていると思いますか。（往診と訪問診療に分けてそれぞれ1つに○）

①往診（1つに○）

(n=86)

1. 十分行われている	22.1%	3. あまり行われていない	18.6%
2. ある程度行われている	46.5%	4. まったく行われていない	5.8%
		無回答	7.0%

② 訪問診療（1つに○）

(n=86)

1. 十分行われている	24.4%	3. あまり行われていない	12.8%
2. ある程度行われている	55.8%	4. まったく行われていない	2.3%
		無回答	4.7%

問19-1 問19の①と②のどちらか1つでも「3. あまり行われていない」または「4. まったく行われていない」と答えた事業所におたずねします。その理由は何ですか。具体的にお書きください。

問20 貴事業所がサービスを提供している利用者の中に、訪問看護や訪問歯科診療、訪問服薬管理指導が必要と思われる方はいますか。（ア～ウそれぞれ1つに○）

(N=119)

ア. 訪問看護が必要と思われる方

1. いる→〔 〕人	52.9%	2. いない	30.3%
（平均 8.93人）		無回答	16.8%

イ. 訪問歯科診療が必要と思われる方

1. いる→〔 〕人	52.9%	2. いない	29.4%
（平均 9.75人）		無回答	17.6%

ウ. 訪問服薬管理指導が必要と思われる方

1. いる→〔 〕人	42.9%	2. いない	38.7%
（平均 6.35人）		無回答	18.5%

問21 貴事業所では、専門職の立場からみて、市内で在宅療養している高齢者の急変時に医療機関へのスムーズな移行が行われているとお考えですか。（1つに○）

(N=119)

1. 行われていると思う	7.6%
2. ある程度行われていると思う	58.8%
3. あまり行われていないと思う	21.8%
4. まったく行われていないと思う	0.8%
無回答	10.9%

問22 貴事業所では、専門職の立場からみて、高齢者の在宅療養を進めていくうえで不足している機能は何だとお考えですか。（いくつでも〇）

(N=119)

1. 訪問診療や往診をしてくれる診療所	53.8%
2. 訪問看護（訪問看護ステーション）	29.4%
3. 訪問・通所リハビリテーションなどリハビリテーション施設	15.1%
4. 介護老人福祉施設や介護老人保健施設などの介護保険施設	17.6%
5. 一人ひとりの状況に応じて関係者が連携して対応するチームケア	55.5%
6. その他〔具体的に： 〕	10.1%
無回答	11.8%

問23 貴事業所では、医療と在宅ケアの間で、どんなことに苦労していますか。具体的にお書きください。

問24 貴事業所では、医療関係機関（病院・診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション、病院の地域連携室など）にどのようなことを期待しますか。具体的にお書きください。

認知症の介護支援についておたずねします

問25 貴事業所の利用者の中で、医師から認知症と診断されている方は何人いらっしゃいますか。1つに〇をつけ、いる場合には人数を記入してください

(N=119)

〔認知症の診断を受けている人〕

1. いる→〔 〕人	93.3%	2. いない	0.8%
(平均 19.81人)		無回答	5.9%

〔認知症の診断は受けていないが、認定調査で認知症とされている人〕

1. いる→〔 〕人	53.8%	2. いない	29.4%
(平均 13.09人)		無回答	16.8%

問26 認知症の利用者の状況で、実際にあるのは次のどれですか。またそのうち、最も大変だったことはどれですか。(いくつでも○、最も大変だったことに◎)
(N=119)

		最も大変 だったこと
1. 本人や家族が医療機関を受診しない	33.6%	2.5%
2. 本人の意思の確認が取れない	60.5%	13.4%
3. 家族が認知症であることを認めない	41.2%	8.4%
4. 薬の飲み間違いがあって、服薬管理ができない	52.1%	3.4%
5. サービスを利用してもらえない、サービス拒否がある	58.0%	12.6%
6. 認知症の症状が急変して緊急対応が必要になる	16.8%	4.2%
7. 認知症の症状のため適切なサービスが受けられない	27.7%	3.4%
8. 消費者被害に遭遇している	21.0%	0.0%
9. 虐待を受けている	16.0%	0.0%
10. 本人や家族間で介護の方針が食い違う	33.6%	4.2%
11. 身体疾患があり医療的な管理が難しい	21.8%	0.8%
12. その他〔具体的に：	7.6%	4.2%
無回答	5.9%	42.9%

問27 貴事業所では、通常医療機関やかかりつけ医とどのような方法で情報を交換していますか。(いくつでも○)

(N=119)

1. 電話	62.2%	6. サービス担当者会議	43.7%
2. ファックス	38.7%	7. 直接訪問	14.3%
3. 電子メール	2.5%	8. その他	18.5%
4. 診察への同行	24.4%	〔具体的に：	〕
5. 訪問診療への同席	16.0%	無回答	5.0%

問28 貴事業所では、認知症の人の支援にあたっては、かかりつけ医との連携はとれていると思いますか。(1つに○)

(N=119)

1. とれている	18.5%	3. あまりとれていない	31.9%
2. まあとれている	29.4%	4. とれていない	13.4%
		無回答	6.7%

問29 これから認知症の人の支援にあたり必要になると思うのは、次のどれですか。
(3つに○)

(N=119)

1. 認知症の状態に応じた適切なサービス提供の流れが示されること	42.9%	
2. 認知症の人を支援する社会資源（施設、サービス）がより増えていくこと	56.3%	
3. 認知症の早期診断を担う医療機関が増えていくこと	26.1%	
4. 地域で、認知症サポーターの活動の輪が広がること	18.5%	
5. かかりつけ医やケアマネジャーの認知症に対する理解と対応力が向上すること	37.0%	
6. 地域包括支援センターにおける認知症の地域支援が充実していくこと	12.6%	
7. 地域ケア会議など専門的な支援体制が充実すること	17.6%	
8. 認知症初期集中支援チームなどがつくられ早期からアセスメントが行われること	13.4%	
9. 認知症の人や家族支援が充実していくこと	63.0%	
10. その他〔具体的に：	〕	3.4%
無回答		4.2%

医療・介護の連携についておたずねします

問30 貴事業所は、医療・介護の連携の必要性についてどのようにお考えですか。

(1つに〇)

(N=119)

- | | | | | | |
|----------|-------|----------|------|-----|------|
| 1. 必要である | 95.8% | 2. 必要でない | 0.8% | 無回答 | 3.4% |
|----------|-------|----------|------|-----|------|

問31 府中市民の在宅療養者への医療・介護は、サービス担当者会議などを通じて連携していると思いますか。(1つに〇)

(N=119)

- | | | |
|----------------|-------------|-------|
| 1. 十分連携している | →問 32 へ進む | 5.0% |
| 2. ある程度連携している | →問 31-1 へ進む | 55.5% |
| 3. 連携が不十分である | | 27.7% |
| 4. ほとんど連携していない | | 3.4% |
| 無回答 | | 8.4% |

問31-1 問31で「3. 連携が不十分である」または「4. ほとんど連携していない」と答えた事業所におたずねします。そのように考える理由は何ですか。

(いくつでも〇)

(n=37)

- | | |
|-------------------------------|-------|
| 1. 医学知識や医療制度がわからない | 32.4% |
| 2. お互いに多忙で連絡がとれない | 48.6% |
| 3. 個人情報保護の観点から情報が共有されない | 21.6% |
| 4. 交流の場がない | 81.1% |
| 5. 誰と連絡をとればいいのかわからない | 37.8% |
| 6. 医療関係者の介護保険に関する知識や理解が不足している | 54.1% |
| 7. その他〔具体的に： _____〕 | 16.2% |
| 無回答 | 0.0% |

問32 貴事業所では、退院前（時）カンファレンスに出席したことがありますか。

(1つに〇)

(N=119)

- | | | |
|-------|-------------|-------|
| 1. ある | →問 32-1 へ進む | 65.5% |
| 2. ない | →問 33 へ進む | 28.6% |
| 無回答 | | 5.9% |

問32-1 問32で「1. ある」と答えた事業所におたずねします。退院前（時）カンファレンスの頻度はどのような状況ですか。具体的にお書きください。

問33 貴事業所では、医療・介護の連携を図るうえで情報の共有化をどのように進めると良いとお考えですか。具体的にお書きください。

問34 貴事業所では、医療関係機関（病院・診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション、病院の地域連携室など）との間で問題やトラブルが発生したことがありますか。（1つに〇）

(N=119)

- | | | |
|-------|-------------|-------|
| 1. ある | →問 34-1 へ進む | 10.1% |
| 2. ない | →問 35 へ進む | 82.4% |
| 無回答 | | 7.6% |

問 34-1 問 34 で「1. ある」と答えた事業所におたずねします。どのような問題やトラブルの発生を経験しましたか。具体的にお書きください。

問35 貴事業所が関わるサービス利用者の情報について、次の関係機関、職種への連絡状況をお答えください。（①～⑬それぞれ1つに〇）

(N=119)

	ほとんどない	あまりない	ある程度ある	よくある	無回答
①病院	37.8%	23.5%	18.5%	10.9%	9.2%
②サービス利用者のかかりつけ医	29.4%	19.3%	31.9%	12.6%	6.7%
③サービス利用者が必要と考えられる診療科の医師	37.8%	20.2%	26.1%	9.2%	6.7%
④歯科医師	50.4%	19.3%	11.8%	10.1%	8.4%
⑤薬剤師	49.6%	20.2%	13.4%	8.4%	8.4%
⑥病院の地域連携室（医療ソーシャルワーカー）	33.6%	29.4%	15.1%	11.8%	10.1%
⑦地域包括支援センター	8.4%	12.6%	39.5%	30.3%	9.2%
⑧訪問看護ステーション	17.6%	23.5%	34.5%	8.4%	16.0%
⑨ケアマネジャー	0.8%	0.8%	14.3%	75.6%	8.4%
⑩ホームヘルパー	12.6%	13.4%	31.9%	26.1%	16.0%
⑪通所介護（デイサービス）	21.0%	26.1%	26.9%	9.2%	16.8%
⑫訪問・通所リハビリテーション	25.2%	29.4%	26.1%	3.4%	16.0%
⑬短期入所生活介護（ショートステイ）	28.6%	26.1%	19.3%	9.2%	16.8%

問36 貴事業所では、サービス利用者の医学的な情報を十分把握していますか。

(1つに○)

(N=119)

- | | |
|----------------|-------|
| 1. 十分把握している | 25.2% |
| 2. ある程度把握している | 67.2% |
| 3. あまり把握していない | 5.0% |
| 4. ほとんど把握していない | 0.0% |
| 無回答 | 2.5% |

問37 一般に医療機関やかかりつけ医（主治医）などとの連携がとりにくいと言われていますが、その主な理由をどのようにお考えですか。（1つに○）

(N=119)

- | | | | |
|---------------------------------|----|-------|-------|
| 1. 医療機関やかかりつけ医（主治医）が多忙で、理解が得にくい | ため | 52.9% | |
| 2. 医療側に体制が整っていない | | ため | 12.6% |
| 3. 連携のとり方がわからない | | | 7.6% |
| 4. 連携の必要性を感じない | | | 0.8% |
| 5. その他〔具体的に： | 〕 | | 16.0% |
| 無回答 | | | 10.1% |

問38 貴事業所では、医療・介護の連携を図るためにどのようなことが必要だとお考えですか。（3つまでに○）

(N=119)

- | | | |
|------------------------------------|---|-------|
| 1. 医師・歯科医師がケアマネジャーの相談を受け付ける時間 | | 44.5% |
| 「ケアマネタイム」を充実する | | |
| 2. 在宅療養者の情報を共有するための統一的なフォーマットを作成する | | 47.1% |
| 3. 医療・介護の連携マニュアルを作成する | | 34.5% |
| 4. 医療関係者と介護関係者が情報交換できる交流の場を確保する | | 40.3% |
| 5. 在宅療養者の緊急時用のベッドを確保する | | 12.6% |
| 6. 関係者のためのネットうえで連絡がとれるような仕組みを構築する | | 23.5% |
| 7. 医療（病院・診療所）と介護の役割分担を明確にする | | 26.9% |
| 8. その他〔具体的に： | 〕 | 5.9% |
| 無回答 | | 5.0% |

災害時の体制についておたずねします

問39 大規模災害が発生した際の要援護者の支援について、計画や方針はありますか。

(1つに○)

(N=119)

- | | |
|----------------------|-------|
| 1. 計画や方針がある | 53.8% |
| 2. 今後策定する予定である | 37.8% |
| 3. 計画や方針はないし、策定予定もない | 2.5% |
| 無回答 | 5.9% |

問40 大規模災害が発生したときに、要援護者に対するサービスを早期に再開し、継続的に提供するためのマニュアルやガイドラインなどがありますか。

(1つに○)

(N=119)

- | | |
|-----------------------------|-------|
| 1. マニュアルやガイドラインがある | 42.9% |
| 2. 今後策定する予定である | 51.3% |
| 3. マニュアルやガイドラインはないし、策定予定もない | 3.4% |
| 無回答 | 2.5% |

問41 貴事業所では大規模災害に備えて、どのようなものを、備蓄していますか。備蓄しているものに○をつけてください。(いくつでも○)

また、それ以外に備蓄品がある場合、その内容などを備考欄にお書きください。

(N=119)

(1) 食糧

- | | |
|------------------------|-------|
| 1. 主食(米、パンなど) | 52.1% |
| 2. 副食
(かん詰め、レトルトなど) | 45.4% |
| 3. 飲料水 | 63.9% |
| 4. その他
〔具体的に: 〕 | 4.2% |
| 無回答 | 29.4% |

(2) 生活用品

- | | |
|--------------------|-------|
| 1. 毛布 | 44.5% |
| 2. 簡易トイレ | 18.5% |
| 3. その他
〔具体的に: 〕 | 6.7% |
| 無回答 | 47.9% |

(3) 高齢者用品

- | | |
|------------------------|-------|
| 1. 成人用おむつ | 71.4% |
| 2. 配慮食(おかゆなど) | 27.7% |
| 3. 介護食(栄養食など) | 22.7% |
| 4. 成人病対応食 | 0.8% |
| 5. アレルギー対応食 | 0.8% |
| 6. ストーマ用装具 | 2.5% |
| 7. 気管孔エプロン
・酸素ボンベなど | 4.2% |
| 8. その他
〔具体的に: 〕 | 3.4% |
| 無回答 | 24.4% |

(4) 介護・医療用品

- | | |
|--------------------|-------|
| 1. 車いす | 64.7% |
| 2. 杖 | 38.7% |
| 3. 歩行器 | 33.6% |
| 4. 簡易ベッド | 18.5% |
| 5. ポータブルトイレ | 35.3% |
| 6. 簡易スロープ | 5.0% |
| 7. 医薬品 | 31.1% |
| 8. その他
〔具体的に: 〕 | 1.7% |
| 無回答 | 26.9% |

(5) 情報用品

- | | |
|--------------------|-------|
| 1. 携帯用ラジオ | 50.4% |
| 2. 拡大鏡 | 10.1% |
| 3. その他
〔具体的に: 〕 | 3.4% |
| 無回答 | 47.9% |

(備考欄)

問42 貴事業所は、府中市の福祉避難所の指定を受けていますか。(1つに○)

(N=119)

- | | | | |
|----------|-------|-----------|-------|
| 1. 受けている | 10.9% | 2. 受けていない | 83.2% |
| | | 無回答 | 5.9% |

問43 貴事業所では、災害時に備えて、どの程度、地域と連携していますか。

(いくつでも○)

(N=119)

- | | |
|---|-------|
| 1. 町内会・自治会と防災協定を結んでいる | 18.5% |
| 2. 町内会・自治会と合同で避難訓練を行っている | 15.1% |
| 3. 介護保険や認知症高齢者などについてリーフレットを作成し地域に配布している | 16.8% |
| 4. 地域のまつりや行事に参加している | 40.3% |
| 5. 事業所内の行事への参加を地域にPRしている | 35.3% |
| 6. その他〔具体的に：〕 | 10.1% |

無回答

31.9%

府中市への意向についておたずねします

問44 今後、保険者としての府中市に対して、事業者として望むことは次のうちどれですか。(3つまで○)

(N=119)

- | | |
|--------------------------------|-------|
| 1. 介護保険に関する情報提供、研修の実施 | 60.5% |
| 2. 質の向上のために事業者が行う研修への支援 | 41.2% |
| 3. 不正な事業所への指導 | 4.2% |
| 4. 利用者への適正なサービス利用の啓発 | 35.3% |
| 5. 地域包括支援センター機能の充実 | 22.7% |
| 6. 府中市と事業者間の情報交換や連絡調整を行う連絡会の開催 | 39.5% |
| 7. 制度運営における保険者判断部分の周知 | 37.8% |
| 8. その他〔具体的に：〕 | 0.8% |

- | | |
|---------|------|
| 9. 特にない | 1.7% |
| 無回答 | 4.2% |

問45 「介護保険制度」全体をよりよくするための環境整備として、府中市が力を入れるべきことは次のうちどれだと思いますか。(3つまで〇)

(N=119)

1. サービス事業者の質を高めること	17.6%
2. ケアマネジャーやホームヘルパーなどの人材を育成すること	27.7%
3. 府中市内に特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護施設を増やすこと	8.4%
4. サービス利用料を補助するなど利用者の費用負担を軽減する 経済的給付を増やすこと	21.0%
5. 介護支援ボランティアポイント制 ^(※) などの新しい仕組みを考えること	14.3%
6. 介護保険についての市民向けの勉強会などを実施すること	16.0%
7. 寝たきりにならないよう、介護予防のサービスに力を入れること	15.1%
8. 高齢期に住み続けられる、住まいの施策を充実すること	22.7%
9. 地域全体で介護を支援する仕組みづくりを行うこと	27.7%
10. 身近な地域で介護保険サービスが受けられる拠点を増やすこと	4.2%
11. 困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やすこと	13.4%
12. 家族介護の負担を軽減する支援策を充実すること	22.7%
13. 地域包括支援センターの機能を充実すること	10.9%
14. 介護保険サービスをカバーする府中市の高齢者保健福祉サービスを充実すること	26.1%
15. 介護保険制度を使いやすいものにすること	21.0%
16. その他〔具体的に： 〕	5.9%
17. わからない	0.8%
無回答	4.2%

※介護支援ボランティアポイント制：介護支援に関わるボランティアを行った高齢者に対し、実績に応じ換金可能なポイントを付与し、介護保険料を実質的に軽減しようとする試み

問46 その他、介護保険に関するご要望について、ご自由にお書きください。

——ご協力ありがとうございました——

府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）策定のための調査 介護支援専門員（ケアマネジャー）調査

調査についてのお願い

皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

府中市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聞きし、平成27年3月に策定を予定しております「府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）」の基礎資料とするために、高齢者福祉全般の調査を実施します。

この調査は、市内で活動する介護支援専門員（ケアマネジャー）の皆様全員にお願いさせていただきます、ご意見やご要望をおうかがいするものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理するとともに、「府中市個人情報の保護に関する条例」に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成25年10月 府中市

記入についてのお願い

1. 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
2. ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてください。
3. 質問によっては、○をつける選択肢の番号を「1つに○」「いくつでも○」などと指定している場合は、指定の範囲内で○をつけてください。また、「その他」をお選びいただいた場合には、お手数ですが（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
4. 質問によっては、ご回答いただく方が限られる場合がありますので、矢印（→）やことわり書きなど、次にご回答いただく質問番号への案内にご注意ください。

調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

11月11日（月）までに ご返送ください。

調査についてご質問などがありましたら、次までお問い合わせください。

【問合せ先】

府中市福祉保健部高齢者支援課地域支援係
TEL 042-335-4011（直通）

おしらせ

この調査の結果については、平成 26 年 4 月頃に府中市のホームページで公開する他、調査報告書を府中市役所高齢者支援課窓口などに設置いたします。ぜひ、ご覧ください。

府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第 6 期）策定までのスケジュール

府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第 6 期）策定は、この調査結果などを基礎資料とし、市民、学識経験者、団体などから構成された「府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進協議会」で検討を進めながら策定します。

平成 26 年 3 月	この調査も含めた調査報告書を取りまとめます。
平成 26 年 4 月頃	調査報告書を府中市のホームページで公開するとともに、各関係機関に設置します。
平成 26 年秋頃	計画についてパブリックコメントを実施します。 ここでいただいたご意見をもとに計画を再調整します。
平成 27 年 3 月	府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第 6 期）を策定します。

なお、現計画（府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定（第 5 期））は、前回の皆さまにご回答いただいたアンケートを基礎資料として策定し、府中市役所高齢者支援課窓口や中央図書館などにてご覧いただけます。

また、以下の府中市のホームページ（<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>）でもご覧いただけます。

◆府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第 5 期）

[府中市ホームページトップページ](#) ⇒ [市政を身近に](#) ⇒ [計画](#)

⇒ [府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第 5 期）](#)

最初に、あなたのことについておたずねします

問1 あなたが所属している事業所の法人の種類はどれですか。(1つに〇)

(N=119)

1. 社会福祉法人	31.1%	6. JA、生協	0.8%
2. 福祉公社・事業団	0.0%	7. 株式会社	34.5%
3. 社団法人	0.8%	8. 有限会社	7.6%
4. 財団法人	0.0%	9. NPO	3.4%
5. 医療法人	17.6%	10. その他〔具体的に： 〕	3.4%
		無回答	0.8%

問2 あなたが所属している事務所の所在地はどこですか。日常生活圏域の地区名でお答えください。(1つに〇)

(N=119)

1. 第1地区	多磨町、朝日町、紅葉丘、白糸台1～3丁目、若松町、浅間町、緑町	6.7%
2. 第2地区	白糸台4～6丁目、押立町、小柳町、八幡町、清水が丘、是政	19.3%
3. 第3地区	天神町、幸町、府中町、寿町、晴見町、栄町、新町	31.9%
4. 第4地区	宮町、日吉町、矢崎町、南町、本町、宮西町、片町	14.3%
5. 第5地区	日鋼町、武蔵台、北山町、西原町、美好町1～2丁目、本宿町3～4丁目、西府町3～4丁目、東芝町	8.4%
6. 第6地区	美好町3丁目、分梅町、住吉町、四谷、日新町、本宿町1～2丁目、西府町1～2、5丁目	17.6%
無回答		1.7%

問3 あなたの性別をお答えください。(1つに〇)

(N=119)

1. 男性	29.4%	2. 女性	68.9%	無回答	1.7%
-------	-------	-------	-------	-----	------

問4 あなたの年齢をお答えください。(1つに〇)

(N=119)

1. 20代	1.7%	4. 50代	35.3%	無回答	0.0%
2. 30代	16.8%	5. 60代	12.6%		
3. 40代	31.1%	6. 70歳以上	2.5%		

問5 あなたは、介護支援専門員（ケアマネジャー、以下「ケアマネジャー」）以外にどのような保健医療福祉関係の資格をお持ちですか。(いくつでも〇)

(N=119)

1. 医師	0.0%	9. 管理栄養士、栄養士	3.4%
2. 歯科医師	0.0%	10. 社会福祉士	14.3%
3. 薬剤師	0.8%	11. 介護福祉士	75.6%
4. 保健師	0.0%	12. 精神保健福祉士	5.0%
5. 看護師、准看護師	3.4%	13. 社会福祉主事	10.1%
6. 理学療法士	0.0%	14. ホームヘルパー	47.9%
7. 作業療法士	0.0%	15. その他〔具体的に： 〕	14.3%
8. 歯科衛生士	2.5%	無回答	0.0%

問6 あなたは、平成 25 年9月1日現在、ケアマネジャー業務に従事してどのくらいの経験がありますか。転職などを行っている場合は、前職なども含めた合計期間で教えてください。(1つに〇)

(N=119)

1. 6か月未満	4.2%	5. 3年以上	16.8%
2. 6か月以上1年未満	8.4%	6. 5年以上	14.3%
3. 1年以上2年未満	10.9%	7. 7年以上	15.1%
4. 2年以上3年未満	10.1%	8. 10年以上	18.5%
		無回答	1.7%

問7 あなたは、ケアマネジャーとして転職したことがありますか。(1つに〇)

(N=119)

1. ある	37.0%	2. ない	58.0%	無回答	5.0%
-------	-------	-------	-------	-----	------

問8 あなたは、現在の居宅介護支援事業所でケアマネジャーとして在籍している期間はどのくらいですか。(1つに〇)

(N=119)

1. 6か月未満	7.6%	5. 3年以上	19.3%
2. 6か月以上1年未満	13.4%	6. 5年以上	16.8%
3. 1年以上2年未満	19.3%	7. 7年以上	10.1%
4. 2年以上3年未満	8.4%	8. 10年以上	5.0%
		無回答	0.0%

問9 あなたの事業所には、何人のケアマネジャーがいますか。

(N=119)

人 (平均 4.66人)

ケアマネジャー業務の担当状況についておたずねします

問10 あなたの勤務形態をお答えください。(1つに〇)

(N=119)

1. 常勤・専従	→問 11	へ進む	58.0%
2. 常勤・兼務	→問 10-1	へ進む	25.2%
3. 非常勤・専従	→問 11	へ進む	14.3%
4. 非常勤・兼務	→問 10-1	へ進む	2.5%
無回答			0.0%

問 10-1 問 10 で「兼務」と回答した方におたずねします。どのような業務を兼務していますか。(いくつでも〇)

(n=33)

1. 管理・事務	63.6%	4. 相談業務	6.1%	無回答	3.0%
2. 医療系サービス	3.0%	5. その他	6.1%		
3. 介護サービス	21.2%	[具体的に：]			

問11 本年9月における週あたりのケアマネジャー業務に従事した時間は平均するとどのくらいですか。

(N=119)

1週間に 時間 (平均 36.80時間)

問12 あなたが担当している利用者数などについておたずねします。担当している利用者や件数がない場合には「0」と記入してください。

(N=119)

① 担当利用者数（一時的入院中などを含め、継続的に関わっている利用者数を記入してください。） (平成 25 年 8 月末現在)	平均 25.89 人
② 居宅サービス計画新規作成件数 (平成 25 年 9 月中の該当件数)	平均 3.51 件
③ 居宅サービス計画変更件数 (平成 25 年 9 月中の該当件数)	平均 4.28 件

問 12-1 問 12 の「①担当利用者数」について、日常生活圏域別及び要介護度別の人数を記入してください。担当している利用者数がない場合には「0」と記入してください。(日常生活圏域については問2を参照)

【日常生活圏域別】 (n=113)

全 体	要支援	平均 1.91 人	要介護	平均 14.65 人
第1地区	要支援	平均 0.61 人	要介護	平均 3.55 人
第2地区	要支援	平均 0.51 人	要介護	平均 3.50 人
第3地区	要支援	平均 0.25 人	要介護	平均 5.27 人
第4地区	要支援	平均 0.17 人	要介護	平均 2.12 人
第5地区	要支援	平均 0.46 人	要介護	平均 2.88 人
第6地区	要支援	平均 0.16 人	要介護	平均 4.22 人

【要介護度別】 (n=113)

全 体	平均 20.12 人
要支援1	平均 1.04 人
要支援2	平均 1.62 人
要介護1	平均 8.23 人
要介護2	平均 6.53 人
要介護3	平均 4.12 人
要介護4	平均 2.63 人
要介護5	平均 2.14 人

問13 あなたが担当している利用者の中で、本人または家族が介護保険施設への入所を希望している方はいますか。1つに○をつけ、介護保険施設への入所を希望している人がいる場合にはその人数を記入してください)

(N=119)

1. いる→〔 〕人 74.8% 2. いない 20.2%
(平均 2.55 人) 無回答 5.0%

担当地域におけるサービスの状況についておたずねします

問14 担当している地域で、事業所数もしくは定員など、量的に不足していると感じるサービス、また、ケアプランに組み入れにくいサービスはありますか。下記の介護保険居宅サービスから3つずつ選んで番号を記入して下さい。

(1) 量的に不足しているサービス

①	②	③
---	---	---

(2) ケアプランに組み入れにくいサービス

①	②	③
---	---	---

(N=119)	(1)	(2)		(1)	(2)
1. 訪問介護	3.4%	0.8%	13. 住宅改修	0.0%	1.7%
2. 訪問入浴介護	0.0%	2.5%	14. 夜間対応型訪問介護	17.6%	16.0%
3. 訪問看護	18.5%	6.7%	15. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	23.5%	26.1%
4. 訪問リハビリテーション	37.8%	10.9%	16. 認知症対応型通所介護	14.3%	2.5%
5. 通所介護	3.4%	0.8%	17. 小規模多機能型居宅介護	12.6%	22.7%
6. 通所リハビリテーション	28.6%	5.0%	18. 複合型サービス	7.6%	13.4%
7. 短期入所生活介護	12.6%	3.4%	19. 認知症対応型共同生活介護	10.1%	6.7%
8. 短期入所療養介護	14.3%	4.2%	20. 地域密着型特定施設入居者生活介護	1.7%	13.4%
9. 居宅療養管理指導	7.6%	20.2%	21. 特にない	7.6%	19.3%
10. 特定施設入居者生活介護	1.7%	4.2%	無回答	7.6%	16.0%
11. 福祉用具貸与	0.0%	0.8%			
12. 特定福祉用具購入費の支給	0.0%	2.5%			

問15 担当している地域での、インフォーマル（制度化されていない）ケアも含めた支援策についておたずねします。在宅生活を支えるために、これから充実が必要と感じる介護支援は次のどれですか。（いくつでも〇）

(N=119)

1. 歯科・眼科・神経内科・精神科などの訪問診療	52.9%	7. 子どもと交流する通所支援	13.4%
2. 相談・話し相手の訪問支援	50.4%	8. 緊急時の短期入所支援	56.3%
3. 入浴のみの短時間の通所支援	49.6%	9. 家族が休むための短期入所支援	22.7%
4. 食事のみの短時間の通所支援	14.3%	10. 独居宅への夜間の泊まり込み支援	40.3%
5. リハビリテーションのみの短時間の通所支援	20.2%	11. 医療的ケアの技術的な指導	21.0%
6. 医療対応のある通所支援	47.9%	12. その他〔具体的に： 〕	15.1%
		13. 特にない	2.5%
		無回答	0.8%

問16 それでは、充実が必要と感じる生活支援は次のどれですか。（いくつでも〇）

(N=119)

1. ゴミ出しなど軽微家事援助	63.0%	6. 通院介助	73.9%
2. 家族介護者の支援	33.6%	7. 日用品の買い物支援	23.5%
3. ふれあいサロン	8.4%	8. 移動販売・食材配達	21.8%
4. コミュニティカフェ	18.5%	9. 資産管理など権利擁護	29.4%
5. 見守りを兼ねた配食サービス	30.3%	10. その他〔具体的に： 〕	8.4%
		無回答	3.4%

問17 現在、府中市では以下のような高齢者保健福祉サービスを実施していますが、今後一層の充実が必要と思うサービスは次のどれですか。(いくつでも○)
(N=119)

- | | | | |
|------------------|-------|-------------------|-------|
| 1. 「食」の自立支援サービス | 34.5% | 6. 日常生活用品(おむつ)の助成 | 27.7% |
| 2. 自立支援ショートステイ | 14.3% | 7. 車いす福祉タクシー | 26.1% |
| 3. 高齢者医療ショートステイ | 46.2% | 8. 寝具乾燥サービス | 3.4% |
| 4. 日常生活湯具給付とレンタル | 5.0% | 9. 訪問理髪サービス | 14.3% |
| 5. はいかい高齢者探索サービス | 28.6% | 10. その他〔具体的に: 〕 | 5.0% |
| | | 無回答 | 7.6% |

問18 現在、介護保険制度改正において、介護予防の見直し(予防給付の地域支援事業への移行)や、市町村の生活支援サービスの強化が検討されています。このことについてお考えのことや業務への影響など、何でも結構ですのでお書きください。

サービス提供事業所との関わりについて おたずねします

問19 あなたが、ふだん作成しているケアプランに沿って、実際のサービス提供を依頼できる事業者がいくつくらいありますか。自事業者も含めて、サービスごとに事業所数をお答えください。

(n=116)

1. 訪問介護	平均 6.32 か所	11. 福祉用具貸与	平均 5.10 か所
2. 訪問入浴介護	平均 1.96 か所	12. 夜間対応型訪問介護	平均 0.58 か所
3. 訪問看護	平均 3.59 か所	13. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	平均 0.16 か所
4. 訪問リハビリテーション	平均 1.31 か所	14. 認知症対応型通所介護	平均 0.98 か所
5. 通所介護	平均 8.17 か所	15. 小規模多機能型居宅介護	平均 0.22 か所
6. 通所リハビリテーション	平均 2.44 か所	16. 複合型サービス	平均 0.00 か所
7. 短期入所生活介護	平均 3.03 か所	17. 地域密着型特定施設入居者生活介護	平均 0.05 か所
8. 短期入所療養介護	平均 1.54 か所	18. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	平均 0.05 か所
9. 居宅療養管理指導	平均 1.65 か所	19. その他〔具体的に〕	平均 0.01 か所
10. 特定施設入居者生活介護	平均 0.37 か所	〔 〕	

サービス担当者会議についておたずねします

問20 サービス担当者会議の開催にあたって、「参加を呼びかけた人」「実際に参加した人」をそれぞれお答えください。(①～⑦のそれぞれに1つずつ〇)

(N=119)

	参加を呼びかけた人	実際に参加した人	無回答
① 利用者	4.2%	90.8%	5.0%
② 家族	7.6%	87.4%	5.0%
③ かかりつけ医（主治医）	38.7%	17.6%	43.7%
④ サービス提供事業者	5.0%	89.9%	5.0%
⑤ かかりつけ医（主治医）以外の医療機関関係者（医師、看護師、医療ソーシャルワーカーなど）	26.1%	26.1%	47.9%
⑥ 地域包括支援センター職員	16.0%	54.6%	29.4%
⑦ その他〔具体的に： 〕	5.0%	11.8%	83.2%

問21 サービス担当者会議の開催にあたって、困難と感ずることは何ですか。

(いくつでも〇)

(N=119)

1. 自分の日程調整	16.8%	6. 資料づくり	14.3%
2. サービス提供事業者との日程調整	68.9%	7. 会議の進め方	29.4%
3. 利用者の出席	3.4%	8. その他	4.2%
4. 家族の出席	21.8%	〔具体的に： 〕	
5. かかりつけ医（主治医）の出席	78.2%	無回答	3.4%

問22 かかりつけ医（主治医）、利用者や家族などがサービス担当者会議に参加しない場合、その理由は何だとお考えですか。(①～⑦、それぞれいくつでも〇)

(N=119)

	サービス事業者	かかりつけ医 主治医	利用者	家族	無回答
① 日にちや曜日が合わない	61.3%	61.3%	10.1%	35.3%	14.3%
② 時間などが合わない	63.9%	63.9%	7.6%	30.3%	12.6%
③ 連絡がつかない	0.0%	14.3%	1.7%	19.3%	68.1%
④ サービス担当者会議の意義や役割を理解してくれない	1.7%	31.9%	9.2%	26.9%	49.6%
⑤ 自分との信頼関係が確立されていない	1.7%	31.9%	1.7%	6.7%	64.7%
⑥ 自分が出席を呼びかけていない	0.0%	52.9%	0.0%	3.4%	46.2%
⑦ その他〔具体的に： 〕	0.0%	6.7%	1.7%	0.8%	91.6%

地域包括支援センターの役割についておたずねします

問23 府中市内の地域包括支援センターは、その役割を果たしていると思いますか。
次の各項目についてお答えください。(①~⑩、それぞれ1つに〇)

(N=119)

	十分果たしている と思う	まあまあ果たして いると思う	どちらとも言えな い	あまり果たしてい ると思えない	果たしているとは 思わない	無回答
① 地域の総合相談窓口としての役割	25.2%	54.6%	11.8%	2.5%	2.5%	3.4%
② 実態把握などによる要介護高齢者の早期発見と対応の役割	19.3%	39.5%	24.4%	5.9%	5.0%	5.9%
③ 支援困難事例への個別指導・相談の役割	15.1%	42.9%	21.8%	8.4%	8.4%	3.4%
④ かかりつけ医（主治医）との連携の役割	9.2%	21.0%	42.0%	16.0%	8.4%	3.4%
⑤ 高齢者虐待防止・権利擁護の役割	17.6%	47.1%	21.0%	7.6%	3.4%	3.4%
⑥ 介護予防プランを作成する役割	31.9%	38.7%	18.5%	5.9%	3.4%	1.7%
⑦ 介護予防講座や教室を開催する役割	31.1%	48.7%	11.8%	4.2%	0.8%	3.4%
⑧ ケアマネジャーに対する日常的な個別指導・相談の役割	13.4%	35.3%	24.4%	17.6%	7.6%	1.7%
⑨ 地域におけるケアマネジャーのネットワークづくりの役割	12.6%	36.1%	27.7%	13.4%	7.6%	2.5%
⑩ 多職種協働・連携による包括的・継続的ケアマネジメント支援の役割	12.6%	33.6%	31.1%	12.6%	6.7%	3.4%

在宅医療の支援についておたずねします

問24 あなたがサービスを提供している利用者の中に、往診*が必要と思われる方はいますか。(1つに〇) (*患者さんの求めに応じて急変時に行う診療)

(N=119)

1. いる→〔 〕人 89.9% 2. いない 9.2%
(平均 3.06人) 無回答 0.8%

問25 あなたがサービスを提供している利用者の中に、訪問診療*が必要と思われる方はいますか。(1つに〇) (*通院の困難な患者さん宅に訪問して行う診療)

(N=119)

1. いる→〔 〕人 94.1% 2. いない 5.0%
(平均 3.54人) 無回答 0.8%

問26 問24 および問25で「1. いる」とお答えの方におたずねします。あなたは、医療処置を必要としている方に往診や訪問診療が十分行われていると思いますか。（往診と訪問診療に分けてそれぞれ1つに○）

①往診（1つに○）（n=107）		②訪問診療（1つに○）（n=112）	
1. 十分行われている	15.9%	1. 十分行われている	24.1%
2. ある程度行われている	45.8%	2. ある程度行われている	56.3%
3. あまり行われていない	27.1%	3. あまり行われていない	9.8%
4. まったく行われていない	7.5%	4. まったく行われていない	3.6%
無回答	3.7%	無回答	6.3%

問27 あなたがサービスを提供している利用者の中に、訪問看護や訪問歯科診療、訪問服薬管理指導が必要と思われる方はいますか。（①～③それぞれ1つに○）
（N=119）

① 訪問看護が必要と思われる方

1. いる→〔 〕人 83.2% 2. いない 14.3%
（平均 4.05人） 無回答 2.5%

② 訪問歯科診療が必要と思われる方

1. いる→〔 〕人 73.9% 2. いない 16.8%
（平均 2.32人） 無回答 9.2%

③ 訪問服薬管理指導が必要と思われる方

1. いる→〔 〕人 58.8% 2. いない 32.8%
（平均 2.28人） 無回答 8.4%

問28 あなたは、専門職の立場からみて、市内で在宅療養している高齢者の急変時に医療機関へのスムーズな移行が行われているとお考えですか。（1つに○）
（N=119）

1. 行われていると思う 6.7%
2. ある程度行われていると思う 55.5%
3. あまり行われていないと思う 33.6%
4. まったく行われていないと思う 0.8%
無回答 3.4%

問29 あなたは、高齢者の在宅医療を進めていくうえで不足している機能はどのようなことだとお考えですか。（いくつでも○）
（N=119）

1. 訪問診療や往診をしてくれる診療所 59.7%
2. 訪問看護（訪問看護ステーション） 28.6%
3. 訪問・通所リハビリテーションなどリハビリテーション施設 27.7%
4. 介護老人福祉施設や介護老人保健施設などの介護保険施設 29.4%
5. 一人ひとりの状況に応じて関係者が連携して対応するチームケア 31.9%
6. 在宅療養をしている方の状況変化時に受け入れ可能な入院施設 67.2%
7. その他〔具体的に： 〕 4.2%
無回答 2.5%

問30 あなたは、医療と在宅ケアの連携でどのようなことに苦労していますか。

問31 あなたは、医療関係機関（病院・診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション、病院の地域連携室など）にどのようなことを期待しますか。

認知症の介護支援についておたずねします

問32 あなたが担当している利用者の中で、医師から認知症と診断されている方は何人いらっしゃいますか。1つに○をつけ、いる場合には人数を記入してください。

(N=119)

〔認知症の診断を受けている人〕

- | | | | |
|------------|-------|--------|------|
| 1. いる→〔 〕人 | 93.3% | 2. いない | 6.7% |
| (平均 6.82人) | | 無回答 | 0.0% |

〔認知症の診断は受けていないが、認定調査で認知症とされている人〕

- | | | | |
|------------|-------|--------|-------|
| 1. いる→〔 〕人 | 71.4% | 2. いない | 22.7% |
| (平均 4.31人) | | 無回答 | 5.9% |

問33 担当する認知症の方の状況で、実際にあるのは次のどれですか。またそのうち、最も大変だったことはどれですか。(いくつでも○、最も大変だったことに◎)

- | | | 最も大変
だったこと |
|-----------------------------|-------|---------------|
| 1. 本人や家族が医療機関を受診しない | 45.4% | 1.7% |
| 2. 本人の意思の確認が取れない | 42.9% | 5.0% |
| 3. 家族が認知症であることを認めない | 42.9% | 7.6% |
| 4. 薬の飲み間違いがあって、服薬管理ができない | 54.6% | 10.9% |
| 5. サービスを利用してもらえない、サービス拒否がある | 51.3% | 7.6% |
| 6. 認知症の症状が急変して緊急対応が必要になる | 20.2% | 2.5% |
| 7. 認知症の症状のため適切なサービスが受けられない | 31.1% | 2.5% |
| 8. 消費者被害に遭遇している | 15.1% | 0.0% |
| 9. 虐待を受けている | 7.6% | 0.8% |
| 10. 本人や家族間で介護の方針が食い違う | 38.7% | 2.5% |
| 11. 身体疾患があり医療的な管理が難しい | 15.1% | 0.8% |
| 12. その他〔具体的に： 〕 | 9.2% | 3.4% |
| 無回答 | 4.2% | 54.6% |

問34 あなたは、通常、医療機関やかかりつけ医とどのような方法で情報を交換していますか。(いくつでも○)

(N=119)

1. 電話	73.1%	5. 訪問診療への同席	59.7%
2. ファックス	56.3%	6. サービス担当者会議	11.8%
3. 電子メール	2.5%	7. 直接訪問	21.8%
4. 診察への同行	67.2%	8. その他〔具体的に： 〕	19.3%
		無回答	1.7%

問35 認知症の人の支援にあたっては、かかりつけ医との連携はとれていると思いますか。(1つに○)

(N=119)

1. とれている	4.2%	3. あまりとれていない	55.5%
2. まあとれている	30.3%	4. とれていない	5.9%
		無回答	4.2%

問36 これから、認知症の人の支援にあたり必要になると思うのは、次のどれですか。(3つまで○)

(N=119)

1. 認知症の状態に応じた適切なサービス提供の流れが示されること	26.9%
2. 認知症の人を支援する社会資源（施設、サービス）がより増えていくこと	52.9%
3. 認知症の早期診断を担う医療機関が増えていくこと	46.2%
4. 地域で、認知症サポーターの活動の輪が広がること	24.4%
5. かかりつけ医やケアマネジャーなどの認知症に対する理解と対応力が向上すること	29.4%
6. 地域包括支援センターにおける認知症の地域支援が充実していくこと	26.9%
7. 地域ケア会議など専門的な支援体制が充実すること	7.6%
8. 認知症初期集中支援チームなどがつくられ早期からアセスメントが行われること	18.5%
9. 認知症の人や家族支援が充実していくこと	57.1%
10. その他〔具体的に： 〕	7.6%
無回答	1.7%

医療・介護の連携についておたずねします

問37 あなたは、医療・介護の連携の必要性についてどのようにお考えですか。(1つに○)

(N=119)

1. 必要である	97.5%	2. 必要でない	0.8%	無回答	1.7%
----------	-------	----------	------	-----	------

問38 府中市民の在宅療養者への医療・介護は、サービス担当者会議などを通じて連携していると思いますか。(1つに○)

(N=119)

1. 十分連携している	} →問 39 へ進む	3.4%
2. ある程度連携している		52.9%
3. 連携が不十分である	} →問 38-1 へ進む	37.8%
4. ほとんど連携していない		3.4%
無回答		2.5%

問 38-1 問 38 で、「3. 連携が不十分である」または「4. ほとんど連携していない」と回答した方におたずねします。あなたがそのように考える理由は次のどれですか。(3つまで〇)

(n=49)

- | | |
|-------------------------------|-------|
| 1. 医学知識や医療制度がわからない | 30.6% |
| 2. お互いに多忙で連絡がとれない | 44.9% |
| 3. 個人情報の保護の観点から情報が共有されない | 14.3% |
| 4. 交流の場がない | 53.1% |
| 5. 誰と連絡をとればいいのかわからない | 22.4% |
| 6. 医療関係者の介護保険に関する知識や理解が不足している | 63.3% |
| 7. その他〔具体的に： 〕 | 4.1% |
| 無回答 | 0.0% |

問39 あなたは、退院前（時）カンファレンスに出席したことがありますか。

(1つに〇)

(N=119)

- | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-----|------|
| 1. ある | 87.4% | 2. ない | 10.1% | 無回答 | 2.5% |
|-------|-------|-------|-------|-----|------|

問40 あなたは、医療・介護の連携を図るうえで情報の共有化をどのように進めればよいとお考えですか。具体的にお書きください。

問41 あなたは、医療関係機関（病院・診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション、病院の地域連携室など）との間で、問題やトラブルが発生したことがありますか。(1つに〇)

(N=119)

- | | | | |
|-------------------|-------|-----------------|-------|
| 1. ある →問 41-1 へ進む | 26.9% | 2. ない →問 42 へ進む | 70.6% |
| | | 無回答 | 2.5% |

問 41-1 問 41 で「1. ある」と回答した方におたずねします。どのような問題が発生しましたか。具体的にお書きください。

問42 あなたが関わるサービス利用者の情報について、次の関係機関、職種への連絡状況をお答えください。(①～⑬それぞれ1つずつ〇)

(N=119)

	いない	ほとんど ない	あまり とって いる	ある 程度と って いる	よく している	無 回 答
① 病 院	10.1%	37.0%	43.7%	5.9%	3.4%	
② サービス利用者のかかりつけ医（主治医）	4.2%	36.1%	49.6%	6.7%	3.4%	
③ サービス利用者が必要と考えられる診療科の医師	23.5%	30.3%	40.3%	1.7%	4.2%	
④ 歯科医師	37.0%	31.1%	25.2%	1.7%	5.0%	
⑤ 薬剤師	51.3%	31.1%	8.4%	4.2%	5.0%	
⑥ 病院の地域連携室（医療ソーシャルワーカー）	8.4%	24.4%	53.8%	10.1%	3.4%	
⑦ 地域包括支援センター	5.0%	10.1%	51.3%	28.6%	5.0%	
⑧ 訪問看護ステーション	2.5%	8.4%	47.1%	39.5%	2.5%	
⑨ ケアマネジャー	1.7%	11.8%	40.3%	18.5%	27.7%	
⑩ ホームヘルパー	0.0%	2.5%	37.8%	57.1%	2.5%	
⑪ 通所介護（デイサービス）	2.5%	1.7%	42.0%	50.4%	3.4%	
⑫ 訪問・通所リハビリテーション	2.5%	5.9%	47.1%	40.3%	4.2%	
⑬ 短期入所生活介護（ショートステイ）	3.4%	10.1%	44.5%	35.3%	6.7%	

問43 あなたは、医療・介護の連携を図るためにどのようなことが必要だとお考えですか。(3つまで〇)

(N=119)

1. 医師・歯科医師がケアマネジャーの相談を受け付ける時間「ケアマネタイム」充実する 36.1%
2. 在宅療養者の情報を共有するための統一的なフォーマットを作成する 47.1%
3. 医療・介護の連携マニュアルを作成する 34.5%
4. 医療関係者と介護関係者が情報交換できる交流の場を確保する 42.9%
5. 在宅療養者の緊急時用のベッドを確保する 33.6%
6. 関係者のためのネットうえで連絡がとれるような仕組みを構築する 20.2%
7. 医療（病院・診療所）と介護の役割分担を明確にする 23.5%
8. その他〔具体的に： 〕 7.6%
- 無回答 4.2%

ケアマネジャー業務全般に関するお考えについて おたずねします

問44 ケアマネジャー業務を行ううえでの課題としてどのようなことをお考えですか。
(いくつでも○)

(N=119)

1. 府中市の介護保険外サービスの種類が少ない	23.5%
2. サービス提供事業者に関する情報が少ない	14.3%
3. 利用者及び家族がサービスの必要性を理解していない	37.8%
4. 忙しくて利用者の意見・要望を聞き調整する時間が十分とれない	19.3%
5. 多問題事例のケアマネジメントの方法がわからない	18.5%
6. 認知症ケアの方法がわからない	5.0%
7. 医療機関との連携がうまくとれない	37.0%
8. 相談する人が身近にいない	10.9%
9. 所属事務所の関連事業者からのサービスに偏る	3.4%
10. 資格更新のための日程調整・研修費用が十分でない	20.2%
11. その他〔具体的に： 〕	11.8%
無回答	5.9%

問45 ケアマネジャー業務の中で、どのようなことに負担を感じていますか。

(いくつでも○)

(N=119)

1. 利用者や家族に対する業務内容の説明と同意	17.6%
2. 課題分析のための居宅訪問・面接	11.8%
3. サービス担当者会議の開催・調整	37.8%
4. ケアプラン原案に対する利用者・家族の同意	5.9%
5. ケアプランの交付（書類の作成など）	31.9%
6. 状況確認のための毎月の居宅訪問・面接	9.2%
7. かかりつけ医（主治医）や医療機関との連絡調整	44.5%
8. 利用者や事業者の苦情対応	22.7%
9. 要介護認定などの申請代行	5.9%
10. 介護報酬請求事務	10.1%
11. 夜間や休日の相談対応	33.6%
12. ケアマネジャー業務以外の相談や頼まれごと	47.9%
13. その他〔具体的に： 〕	20.2%
14. 特に負担に感じることはない	2.5%
無回答	1.7%

問46 ケアプランを作成するうえで、わからないことや困ったことがあったとき誰に相談しますか。(いくつでも○)

(N=119)

1. 同一事務所のケアマネジャー	84.9%	8. 東京都国民健康保険団体連絡会	1.7%
2. 他事務所のケアマネジャー	21.0%	9. サービス提供事業者	34.5%
3. 地域の主任ケアマネジャー	12.6%	10. 医師	14.3%
4. ケアマネジャー連絡会	1.7%	11. その他〔具体的に： 〕	5.0%
5. 地域包括支援センター	56.3%	12. 相談できる相手がない	0.8%
6. 府中市役所	61.3%	13. 困ったりすることはない	0.8%
7. 東京都	5.0%	無回答	0.0%

問47 どのようなことを相談していますか。(いくつでも○)

(N=119)

1. 困難事例への対応に関すること	78.2%
2. 利用者・家族間の意見調整に関すること	31.9%
3. 運営基準などの解釈に関すること（居宅サービスの適否判断を含む）	51.3%
4. 上記3以外のケアマネジャー業務に関すること	22.7%
5. 介護保険外のサービスの利用に関すること	34.5%
6. 医療知識に関すること	36.1%
7. 介護報酬請求事務に関すること	16.8%
8. その他〔具体的に： 〕	4.2%
9. 特に相談することはない	0.8%
無回答	0.0%

問48 ご自身のケアマネジャー業務のレベルアップのために行っている・また今後行いたい取り組みは次のどれですか。(3つまで○)

(N=119)

	①	②
1. 自主的な勉強会の実施・参加	30.3%	24.4%
2. 事業者連絡会などへの参加	60.5%	14.3%
3. 事例検討会の実施・意見交換	41.2%	20.2%
4. 事業所内の研修への積極的な参加	30.3%	13.4%
5. 外部研修への積極的な参加	29.4%	41.2%
6. 参考書やWAMなどによる知識や情報収集	16.8%	20.2%
7. 集会や学会への参加・発表	1.7%	10.9%
8. その他〔具体的に： 〕	1.7%	1.7%
無回答	19.3%	29.4%

①行っているもの

--	--	--

②今後行いたいもの

--	--	--

問49 あなたは、次のような研修などを受けたことがありますか。(いくつでも○)

(N=119)

- | | |
|---|-------|
| 1. 認知症サポーター養成講座 | 47.1% |
| 地域のみで認知症について正しく理解し認知症の人や家族を温かく見守り、支援する応援者の研修 | |
| 2. キャラバン・メイト養成研修 | 7.6% |
| 地域の認知症サポーター養成講座の企画や講師を務める指導者を育成する研修 | |
| 3. 認知症介護実践者研修・実践リーダー研修・指導者研修 | 4.2% |
| 施設や地域の中でリーダーシップを発揮し、認知症支援の方策を実践するほか、指導者として研修の企画立案に携わる人材を育成するための研修 | |
| 4. その他〔具体的に： | 〕 |
| 無回答 | 6.7% |
| | 43.7% |

問50 利用者への情報提供の際に課題であると感じていることはありますか。

(いくつでも○)

(N=119)

- | | |
|---|-------|
| 1. 重要事項説明書などを用いて契約内容を説明しても、利用者の理解が | 47.1% |
| どの程度得られているか判断が難しいこと（特に認知症高齢者の場合） | |
| 2. 介護保険制度を簡便に説明できる媒体が少ないこと | 25.2% |
| 3. 居宅介護事業所内に利用者対応マニュアルが整備されていないこと | 6.7% |
| 4. 制度改正が頻繁かつ複雑多岐にわたり、利用者の理解を得るのが困難なこと | 64.7% |
| 5. 利用者本人と家族の意向が異なる場合にどちらを優先するべきか判断に迷うこと | 33.6% |
| 6. その他〔具体的に： | 〕 |
| 無回答 | 2.5% |
| | 7.6% |

府中市への意向についておたずねします

問51 今後保険者としての府中市に対し、ケアマネジャーとして望むことは次のうちどれですか。(3つまで○)

(N=119)

- | | |
|--------------------------------|-------|
| 1. 介護保険に関する情報提供、研修の実施 | 47.9% |
| 2. 質の向上のために事業者が行う研修への支援 | 21.0% |
| 3. 不正な事業所への指導 | 7.6% |
| 4. 利用者への適正なサービス利用の啓発 | 29.4% |
| 5. 地域包括支援センター機能の充実 | 38.7% |
| 6. 府中市と事業者間の情報交換や連絡調整を行う連絡会の開催 | 18.5% |
| 7. 制度運営における保険者判断部分の周知 | 56.3% |
| 8. その他〔具体的に： | 〕 |
| 9. 特になし | 1.7% |
| 無回答 | 3.4% |

問52 「介護保険制度」全体をよりよくするための環境整備として、府中市が力を入れるべきことは次のうちどれだと思いますか。(3つまで〇)

(N=119)

1. サービス事業者の質を高めること	21.8%
2. ケアマネジャーやホームヘルパーなどの人材を育成すること	18.5%
3. 府中市内に特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護施設を増やすこと	26.9%
4. サービス利用料を補助するなど利用者の費用負担を軽減する 経済的給付を増やすこと	6.7%
5. 介護支援ボランティアポイント制 ^(※) などの新しい仕組みを考えること	16.8%
6. 介護保険についての市民向けの勉強会などを実施すること	22.7%
7. 寝たきりにならないよう、介護予防のサービスに力を入れること	18.5%
8. 高齢期に住み続けられる、住まいの施策を充実すること	30.3%
9. 地域全体で介護を支援する仕組みづくりを行うこと	19.3%
10. 身近な地域で介護保険サービスが受けられる拠点を増やすこと	8.4%
11. 困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やすこと	14.3%
12. 家族介護の負担を軽減する支援策を充実すること	18.5%
13. 地域包括支援センターの機能を充実すること	17.6%
14. 介護保険サービスをカバーする府中市の高齢者保健福祉サービスを充実すること	22.7%
15. 介護保険制度を使いやすいものにすること	21.8%
16. その他〔具体的に： 〕	5.0%
17. わからない	0.0%
無回答	0.8%

※介護支援ボランティアポイント制：介護支援に関わるボランティアを行った高齢者に対し、実績に応じ換金可能なポイントを付与し、介護保険料を実質的に軽減しようとする試み

問53 その他、介護保険に関するご要望について、ご自由にお書きください。

——ご協力ありがとうございました——

府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）策定のための調査

医療・介護の連携：医療従事者調査

調査についてのお願い

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

府中市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きし、平成27年3月に策定を予定しております「府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）」の基礎資料とするために、高齢者福祉全般の調査を実施します。

本調査は、府中市内の医療機関の中から、医師・看護師などの医療従事者をお願いをさせていただくものです。

貴医療機関・事業所の医師、歯科医師、薬剤師、看護師、訪問看護師、医療ソーシャルワーカーのいずれか1名に、ご回答をお願いできればと思います。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理するとともに、「府中市個人情報の保護に関する条例」に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成25年10月 府中市

記入についてのお願い

1. 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
2. ご回答は、あてはまる選択肢の番号に○印をつけてください。
3. 質問によっては、○をつける選択肢の番号を「1つに○」、「いくつでも○」などと指定している場合は、指定の範囲内で○をつけてください。また、「その他」をお選びいただいた場合には、お手数ですが（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
4. 質問によっては、ご回答いただく方が限られる場合がありますので、矢印（→）やことわり書きなど、次にご回答いただく質問番号への案内にご注意ください。

記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

11月11日（月）までに ご返送ください。

調査についてご質問などがありましたら、次までお問い合わせください。

【問合せ先】

府中市福祉保健部高齢者支援課地域支援係

TEL 042-335-4011（直通）

おしらせ

この調査の結果については、平成 26 年 4 月頃に府中市のホームページで公開する他、調査報告書を府中市役所高齢者支援課窓口などに設置いたします。ぜひ、ご覧ください。

府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第 6 期）策定までのスケジュール

府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第 6 期）策定は、この調査結果などを基礎資料とし、市民、学識経験者、団体などから構成された「府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進協議会」で検討を進めながら策定します。

平成 26 年 3 月	この調査も含めた調査報告書を取りまとめます。
平成 26 年 4 月頃	調査報告書を府中市のホームページで公開するとともに、各関係機関に設置します。
平成 26 年秋頃	計画についてパブリックコメントを実施します。 ここでいただいたご意見をもとに計画を再調整します。
平成 27 年 3 月	府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第 6 期）を策定します。

なお、現計画（府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定（第 5 期））は、前回の皆さまにご回答いただいたアンケートを基礎資料として策定し、府中市役所高齢者支援課窓口や中央図書館などにてご覧いただけます。

また、以下の府中市のホームページ（<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>）でもご覧いただけます。

◆府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第 5 期）

[府中市ホームページトップページ](#) ⇒ [市政を身近に](#) ⇒ [計画](#)

⇒ [府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第 5 期）](#)

**最初に、あなたやあなたの所属されている
医療機関についておたずねします**

問1 あなたが所属されている医療機関を教えてください。(1つに○)

(N=202)

1. 病 院	2.5%
2. 一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有）	5.0%
3. 一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出無）	35.1%
4. 歯科診療所	31.2%
5. 薬 局	11.4%
6. 訪問看護ステーション	13.9%
7. 病院の地域連携室	0.0%
8. その他〔具体的に： 〕	0.5%
無回答	0.5%

※ もし差し障りがなければ、あなたが所属している医療機関や診療科、事業所の名称、及びスタッフ数をお書きください。

医療機関などの名称〔 〕

スタッフ数〔平均〕(n=176)

1. 医 師	〔1.24 人〕	4. 看 護 師	〔3.06 人〕
2. 歯科医師	〔0.46 人〕	5. 訪問看護師	〔0.86 人〕
3. 薬 剤 師	〔0.55 人〕	6. 医療ソーシャルワーカー	〔0.08 人〕

問2 あなたの職種は次のどれですか。(1つに○)

(N=202)

1. 医 師	36.6%	4. 看 護 師	3.5%
2. 歯科医師	32.2%	5. 訪問看護師	12.9%
3. 薬 剤 師	11.4%	6. 医療ソーシャルワーカー	3.0%
		無回答	0.5%

問3 あなたが所属されている医療機関や事業所の所在地はどこですか。(1つに○)

(N=202)

1. 第1地区	多磨町、朝日町、紅葉丘、白糸台1～3丁目、若松町、浅間町、緑町	15.3%
2. 第2地区	白糸台4～6丁目、押立町、小柳町、八幡町、清水が丘、是政	16.3%
3. 第3地区	天神町、幸町、府中町、寿町、晴見町、栄町、新町	24.3%
4. 第4地区	宮町、日吉町、矢崎町、南町、本町、宮西町、片町	16.8%
5. 第5地区	日鋼町、武蔵台、北山町、西原町、美好町1～2丁目、本宿町3～4丁目、西府町3～4丁目、東芝町	10.9%
6. 第6地区	美好町3丁目、分梅町、住吉町、四谷、日新町、本宿町1～2丁目、西府町1～2、5丁目	16.3%
無回答		0.0%

在宅療養支援への取り組み状況についておたずねします

問4 府中市民への在宅療養支援への取り組み状況についておたずねします。

(1) は医師、(2) は歯科医師、(3) は薬剤師、(4) は看護師、
(5) は訪問看護師、(6) は医療ソーシャルワーカーの方がお答えください。

(1) (医師の方) あなたは、平成 25 年9月中に在宅療養支援を行いましたか。(①~③それぞれ1つに○)

(n=74)

	行った	行わなかった	無回答
①訪問診療・往診	29.7%	67.6%	2.7%
②訪問看護ステーションへの指示書の交付	54.1%	43.2%	2.7%
③在宅での看取り	12.2%	79.7%	8.1%

(2) (歯科医師の方) あなたは、平成 25 年9月中に在宅療養支援を行いましたか。

(n=65)

	行った	行わなかった	無回答
①歯科医師による訪問診療	41.5%	56.9%	1.5%

(3) (薬剤師の方) あなたは、平成 25 年9月中に在宅療養支援を行いましたか。

(n=23)

	行った	行わなかった	無回答
①訪問調剤管理(薬剤師が患者宅を訪問して服薬状況を確認し新しい薬剤を配置)	13.0%	87.0%	0.0%

(4) (看護師の方) あなたの平成 25 年9月中の在宅療養支援に関する活動状況をお答えください。(①~③それぞれ1つに○)

(n=7)

	行った	行わなかった	無回答
①訪問診療・往診時の看護	14.3%	57.1%	28.6%
②訪問看護ステーションなどへの支援	0.0%	71.4%	28.6%
③在宅での看取りの支援	0.0%	71.4%	28.6%

(5) (訪問看護師の方) あなたの平成 25 年9月中の在宅療養支援に関する活動状況をお答えください。(①~③それぞれ1つに○)

(n=26)

	行った	行わなかった	無回答
①緊急対応時の訪問看護	53.8%	42.3%	3.8%
②医療保険による訪問看護	92.3%	7.7%	0.0%
③在宅での看取り	38.5%	57.7%	3.8%

(6) (医療ソーシャルワーカーの方) あなたの平成 25 年9月中の在宅療養支援に関する活動状況をお答えください。(①~③それぞれ1つに○)

(n=6)

	行った	行わなかった	無回答
①退院支援の相談	100.0%	0.0%	0.0%
②退院前(時) ケアカンファレンス	83.3%	16.7%	0.0%
③退院支援	100.0%	0.0%	0.0%

全員の方がお答えください
医療・介護の連携状況とお考えについておたずねします

問5 あなたは、医療・介護の連携の必要性についてどのようにお考えですか。
 (1つに○)

(N=202)

- | | | | |
|----------|-------|-----|-------|
| 1. 必要である | →問6 | へ進む | 97.0% |
| 2. 必要でない | →問5-1 | へ進む | 1.5% |
| 無回答 | | | 1.5% |

問5-1 問5で、「2. 必要でない」と回答した方におたずねします。あなたが
 そのように考える理由はつぎのどれですか。(1つに○)

(n=3)

- | | | | | |
|---------------|-------|--------------|---|------|
| 1. 医療と介護は別である | 66.7% | 3. その他〔具体的に： | 〕 | 0.0% |
| 2. 制度が異なる | 33.3% | 無回答 | | 0.0% |

問6 あなたは、府中市民の在宅療養者への医療と介護は、サービス担当者会議など
 を通じて連携していると思いますか。(1つに○)

(N=202)

- | | | | | | |
|-------------------|---|-----|-------|-------|-------|
| 1. 十分連携していると思う | } | →問7 | へ進む | 10.4% | |
| 2. ある程度連携していると思う | | | | 55.0% | |
| 3. 連携が不十分であると思う | | } | →問6-1 | へ進む | 23.8% |
| 4. ほとんど連携していないと思う | | | | | 4.5% |
| 無回答 | | | | 6.4% | |

問6-1 問6で、「3. 連携が不十分であると思う」、「4. ほとんど連携していな
 いと思う」と回答した方におたずねします。あなたがそのように考える理
 由はつぎのどれですか。(3つまで○)

(n=57)

- | | | |
|-----------------------------|-------|-------|
| 1. 介護保険など福祉の制度がわからない | 28.1% | |
| 2. お互いに多忙で連絡がとれない | 36.8% | |
| 3. 個人情報保護の観点から情報が共有されない | 28.1% | |
| 4. 交流の場がない | 52.6% | |
| 5. 誰と連絡をとればいいのかわからない | 35.1% | |
| 6. 介護関係者の医療に関する知識や理解が不足している | 21.1% | |
| 7. その他〔具体的に： | 〕 | 21.1% |
| 無回答 | 1.8% | |

問7 あなたは、退院前(時)カンファレンスやサービス担当者会議に出席したこと
 がありますか。(1つに○)

(N=202)

- | | | | |
|-------|-------|-----|-------|
| 1. ある | →問7-1 | へ進む | 19.8% |
| 2. ない | →問8 | へ進む | 77.7% |
| 無回答 | | | 2.5% |

問7-1 問7で「1. ある」と答えた方におたずねします。その頻度はどのような状況ですか。具体的にお書きください。

問8 あなたは、介護サービス提供事業者との間で問題やトラブルの発生を経験したことがありますか。(1つに〇)

(N=202)

- | | | |
|-------|----------|-------|
| 1. ある | →問8-1へ進む | 5.0% |
| 2. ない | →問9へ進む | 92.6% |
| 無回答 | | 2.5% |

問8-1 問8で「1. ある」と回答した方におたずねします。あなたは、どのような問題やトラブルの発生を経験しましたか。具体的にお書きください。

問9 あなたが関わるサービス利用者の情報について、次の関係機関、職種への連絡状況をお答えください。(①~⑩それぞれ1つに〇)

(N=202)

	い な い	ほ と ん ど と つ て	な い あ ま り と つ て い	い る あ る 程 度 と つ て	よ く と つ て い る	無 回 答
①病院	33.2%	15.3%	30.7%	9.9%	10.9%	
②サービス利用者のかかりつけ医（主治医）	30.7%	11.4%	32.2%	11.4%	14.4%	
③歯科医師	53.0%	8.9%	11.9%	8.9%	17.3%	
④薬剤師	51.0%	9.9%	17.8%	5.9%	15.3%	
⑤地域包括支援センター	44.6%	15.8%	20.3%	7.4%	11.9%	
⑥訪問看護ステーション	40.6%	11.4%	23.3%	11.4%	13.4%	
⑦訪問・通所リハビリテーション	48.5%	19.3%	14.9%	5.9%	11.4%	
⑧ケアマネジャー	31.7%	16.8%	23.8%	17.3%	10.4%	
⑨訪問介護（ヘルパー）	41.1%	23.8%	19.3%	4.5%	11.4%	
⑩通所介護（デイサービス）	48.5%	23.8%	13.4%	2.5%	11.9%	

問10 あなたは、今後在宅医療に関してどのようにお考えですか。(1つに○)

(N=202)

- | | | | |
|---------------|---------|-----|-------|
| 1. 関心がある | →問 11 | へ進む | 70.3% |
| 2. 積極的にかかわりたい | →問 10-1 | へ進む | 11.4% |
| 3. 関心がない | →問 11 | へ進む | 15.3% |
| 無回答 | | | 3.0% |

問 10-1 問 10 で「2. 積極的にかかわりたい」と回答した方におたずねします。
 どのようにかかわりたいとお考えですか。具体的にお書きください。

問11 あなたは、医療職と介護職が連携するために、どのようなことが充実するとよいと思いますか。(いくつでも○)

(N=202)

- | | |
|------------------------------------|--------|
| 1. 医師・歯科医がケアマネジャーの相談を受けるケアマネタイムの充実 | 36.1% |
| 2. 在宅療養者の情報を共有化する統一的なフォーマットの作成 | 45.5% |
| 3. 医療・介護の連携マニュアルの作成 | 41.1% |
| 4. 医療関係者と介護関係者が情報交換できる交流の場の確保 | 41.1% |
| 5. 在宅療養者の緊急時用のベッドの確保 | 26.2% |
| 6. 関係者のためのネットうえで連絡がとれるような仕組み | 24.3% |
| 7. 医療（病院・診療所）と介護との役割分担 | 35.6% |
| 8. その他〔具体的に： | 〕 2.5% |
| 無回答 | 5.9% |

※ 歯科医師の方は問 25 へ、薬剤師の方は問 33 へ、看護師の方は問 38 へ、訪問看護師の方は問 42 へ、医療ソーシャルワーカーの方は問 46 へ進んでください。

医師の方におたずねします【問 12～問 24】

問12 あなたの医療機関では、地域連携の部署を設置していますか。(1つに○)

(n=74)

- | | | | |
|------------|---------|-----|-------|
| 1. 設置している | →問 12-1 | へ進む | 4.1% |
| 2. 設置していない | →問 13 | へ進む | 94.6% |
| 無回答 | | | 1.4% |

問 12-1 問 12 で「1. 設置している」と回答した方におたずねします。あなたの医療機関における地域連携の部署は、どのような活動を行っていますか。(いくつでも○)

(n=3)

- | | |
|--|---------|
| 1. かかりつけ医（主治医）とケアマネジャーとの連携を図るため、地域連携室が窓口となっている | 66.7% |
| 2. 入院時から退院後の相談に応じている | 33.3% |
| 3. 退院に関する情報を主治医、医療相談、看護師などの担当者間で共有している | 33.3% |
| 4. 地域の介護職を交えて退院前（時）カンファレンスを行っている | 33.3% |
| 5. その他〔具体的に： | 〕 33.3% |
| 無回答 | 0.0% |

問13 あなたの医療機関や診療科と、他科や他の医療機関との連携はとれていますか。
(1つに○)

(n=74)

1. 十分連携している	17.6%	3. 連携が不十分である	23.0%
2. ある程度連携している	45.9%	4. ほとんど連携していない	10.8%
		無回答	2.7%

問14 あなたの医療機関では、在宅療養支援診療所の届出を行っていますか。
(1つに○)

(n=74)

1. 既に行っている	} →問 15へ進む	9.5%
2. 今後届出を行う計画である→平成〔 〕年		1.4%
3. 検討中		6.8%
4. 届出を行う計画はない →問 14-1へ進む		79.7%
無回答		2.7%

問 14-1 問 14で「4. 届出を行う計画はない」と回答した方におたずねします。
その理由はつぎのどれですか。(いくつでも○)

(n=59)

1. 時間がない	66.1%	6. ターミナルケアへの対応がわからない	6.8%
2. 報酬が少ない	1.7%	7. 自分がしなくてもいいと思う	6.8%
3. 特に要請がない	23.7%	8. 面倒である	6.8%
4. 保険請求がわからない	5.1%	9. その他〔具体的に： 〕	25.4%
5. 在宅診療は難しいので不安	16.9%	無回答	0.0%

問15 あなたの医療機関では、在宅医療支援ベッドを確保していますか。(1つに○)

(n=74)

1. 確保している→〔 〕床	→問 16へ進む	1.4%
2. 確保していない	→問 15-1へ進む	93.2%
無回答		5.4%

問 15-1 問 15で「2. 確保していない」と回答した方におたずねします。
今後在宅支援ベッドを確保する計画がありますか(1つに○)

(n=69)

1. ある→平成〔 〕年	0.0%	3. ない	95.7%
2. 検討中	1.4%	無回答	2.9%

問16 あなたは、介護関係者との情報交換の機会を確保していますか。(1つに○)

(n=74)

1. 確保している→1か月平均〔 〕時間程度 (平均 4.43時間)	9.5%
2. 確保していない	83.8%
無回答	6.8%

問17 あなたは、ケアプランの送付と受け取りの必要性についてどのようにお考えですか。(1つに○)

(n=74)

1. 必要性を感じている	31.1%	3. あまり必要性を感じていない	18.9%
2. やや必要性を感じている	40.5%	4. まったく必要性を感じていない	4.1%
		無回答	5.4%

問18 あなたは、介護保険制度及び介護サービスの内容についてどの程度習熟していますか。(1つに○)

(n=74)

1. 十分理解している	12.2%	3. あまり理解していない	44.6%
2. やや理解している	36.5%	4. まったく理解していない	5.4%
		無回答	1.4%

問19 あなたは、介護従事者にどのようなことを期待していますか。(いくつでも○)

(n=74)

1. 医療の知識を深めてほしい	28.4%
2. 介護職としての専門性や技術力を向上してほしい	54.1%
3. 本人及び介護現場の状況を積極的に医療職に伝える努力をしてほしい	40.5%
4. ケアマネジャーとの連携を密に行ってほしい	44.6%
5. その他〔具体的に：	〕 0.0%
6. 特に期待はしていない	14.9%
無回答	4.1%

問20 あなたが担当している患者のうち、認知症の症状がある人は何割くらいですか。

(n=74)

割くらい (平均 1.14 人)

問21 あなたは認知症の方を治療するとき困ることがありますか。(いくつでも○)

(n=74)

1. 処方した薬の飲み間違いがある	43.2%
2. 病気に対する適切な対応の仕方がわからない	20.3%
3. 処方する薬のことがわからない	17.6%
4. 本人や家族から正確な情報が得られない	37.8%
5. 治療の方針が理解してもらえない	21.6%
6. 症状や状態の変化によって治療が難しい	43.2%
7. その他〔具体的に：	〕 8.1%
8. 特にない	12.2%
無回答	6.8%

問22 あなたは、認知症の人の治療を、専門医に紹介することがありますか。

(n=74)

1. ある →問 22-1 へ進む	73.0%	2. ない →問 23 へ進む	24.3%
		無回答	2.7%

問 22-1 問 22 で「1. ある」と回答した人におたずねします。どのような目的で紹介をしますか。(いくつでも○)

(n=54)

1. 認知症の鑑定診断を依頼する	70.4%	4. 治療を依頼するため	72.2%
2. 治療方針の助言を受けるため	42.6%	5. その他〔具体的に：	〕 3.7%
3. 処遇に関する参考意見を得るため	20.4%	無回答	3.7%

問 22-2 どのような機関の専門医ですか。(いくつでも○)

(n=54)

- | | |
|-------------------------------|--------|
| 1. 認知症疾患医療センターの専門医 | 55.6% |
| 2. 高齢者医療の専門機関の専門医 | 33.3% |
| 3. 高齢者医療の専門ではないが設備のある医療機関の専門医 | 44.4% |
| 4. その他〔具体的に： | 〕 7.4% |
| 無回答 | 3.7% |

問 22-3 その時どのようなことが問題になりますか。(いくつでも○)

(n=54)

- | | |
|--------------------|--------|
| 1. 本人や家族の理解が得られない | 20.4% |
| 2. 適切な医療機関がわからない | 16.7% |
| 3. 紹介する先が多忙で時間がかかる | 31.5% |
| 4. 手続きが煩雑で時間がかかる | 9.3% |
| 5. その他〔具体的に： | 〕 3.7% |
| 6. 特に問題はない | 40.7% |
| 無回答 | 5.6% |

問23 あなたは、次のような研修などを受けたことがありますか。(いくつでも○)

(n=74)

- | | |
|--|--------|
| 1. 認知症サポーター養成講座
地域のなかで認知症について正しく理解し認知症の人や家族を温かく見守り、支援する応援者の研修 | 5.4% |
| 2. キャラバン・メイト養成研修
地域の認知症サポーター養成講座の企画や講師を務める指導者を育成する研修 | 0.0% |
| 3. かかりつけ医認知症対応力向上研修
かかりつけ医に対し、適切な認知症診断の知識、家族からの話や悩みを聞く姿勢を習得する研修 | 33.8% |
| 4. 認知症サポート医養成研修
かかりつけ医への助言など、認知症地域医療体制の中核的役割を担う医師を養成する研修 | 10.8% |
| 5. その他〔具体的に： | 〕 1.4% |
| 無回答 | 59.5% |

問24 あなたは今後、認知症や認知症の介護に関する研修があれば受けたいですか。

(1つに○)

(n=74)

- | | |
|----------------|-------|
| 1. 受けたい | 50.0% |
| 2. 受けたくない | 18.9% |
| 3. わからない・関心がない | 29.7% |
| 無回答 | 1.4% |

【次は問 50 へ進んでください】

歯科医師の方におたずねします【問 25～問 32】

問25 あなたは、訪問歯科診療や往診を行っていますか。(1つに○)

(n=65)

- | | | |
|-----------|-------------|-------|
| 1. 行っている | →問 25-1 へ進む | 64.6% |
| 2. 行っていない | →問 26 へ進む | 35.4% |
| 無回答 | | 0.0% |

問 25-1 問 25 で「1. 行っている」とお答えの方におたずねします。あなたは、訪問時に口腔衛生指導などを実施していますか。(1つに〇)

(n=42)

1. 実施している	81.0%	2. 実施していない	9.5%
		無回答	9.5%

問 25-2 あなたは、歯科衛生士による訪問歯科衛生指導及び居宅療養管理指導を実施していますか。(1つに〇)

(n=42)

1. 実施している	64.3%	2. 実施していない	31.0%
		無回答	4.8%

問 25-3 訪問歯科診療や往診の依頼元はどこですか。(いくつでも〇)

(n=42)

1. 通院していた患者が訪問歯科診療や往診を受けるようになった	50.0%	6. 都立心身障害者口腔保健センターからの紹介	0.0%
2. 以前からのかかりつけ歯科医師	16.7%	7. ケアマネジャー	9.5%
3. 歯科医師会からの依頼	83.3%	8. 訪問看護ステーション	2.4%
4. 主治医	7.1%	9. 介護保険サービス事業者	4.8%
5. 病院からの紹介	4.8%	10. 本人または家族	40.5%
		11. その他〔具体的に： 〕	2.4%
		無回答	2.4%

問 25-4 訪問歯科診療や往診で対応可能な治療は何ですか。(いくつでも〇)

(n=42)

1. 義歯の作成や調整	100.0%	5. 歯科衛生指導	76.2%
2. むし歯の治療	85.7%	6. 応急処置のみ	16.7%
3. 歯周病の治療	76.2%	7. その他〔具体的に： 〕	11.9%
4. 摂食・嚥下指導	26.2%	無回答	0.0%

問26 今後依頼があった場合に訪問歯科診療や往診の実施は可能ですか。(1つに〇)

(n=65)

1. 依頼があれば、訪問する	47.7%	3. 訪問はできない	18.5%
2. 訪問するが、治療内容によっては通院してほしい	27.7%	4. その他〔具体的に： 〕	4.6%
		無回答	1.5%

問27 あなたの診療所では在宅療養支援歯科診療所の届出を行っていますか。

(1つに〇)

(n=65)

1. 既に行っている	} →問 28 へ進む	18.5%
2. 今後届出を行う予定である→平成〔 〕年		0.0%
3. 検討中		41.5%
4. 届出を行う計画はない →問 27-1 へ進む		40.0%
無回答		0.0%

問 27-1 問 27 で「4. 届出を行う予定はない」と回答した方におたずねします。
その理由はつぎのどれですか。(いくつでも○)

(n=26)

1. 時間がない	34.6%	6. 摂食・嚥下障害への対応が	11.5%
2. 報酬が少ない	3.8%	わからない	
3. 特に要請がない	23.1%	7. 自分がしなくてもいいと思う	7.7%
4. 保険請求がわからない	11.5%	8. 面倒である	11.5%
5. 在宅の歯科治療は難しいので不安	19.2%	9. その他〔具体的に： 〕	38.5%
		無回答	0.0%

問28 あなたは、在宅で療養生活を送っている府中市民の方のかかりつけ医（主治医）と連携していますか。（1つに○）

(n=65)

1. 連携している	→問 29 へ進む	18.5%
2. あまり連携していない	} →問 28-1 へ進む	36.9%
3. 連携していない		40.0%
無回答		4.6%

問 28-1 問 28 で「2. あまり連携していない」、「3. 連携していない」と回答した方におたずねします。その理由はつぎのどれですか。（1つに○）

(n=50)

1. 必要と思わない	12.0%	3. その他〔具体的に： 〕	26.0%
2. 連携の方法がわからない	56.0%	無回答	6.0%

問29 あなたは、在宅で療養生活を送っている府中市民の方のケアマネジャーと連携していますか。（1つに○）

(n=65)

1. 連携している	24.6%	2. あまり連携していない	46.2%
3. 連携していない	26.2%	無回答	3.1%

問30 あなたは、訪問歯科診療など以外の通常の歯科診療の中で、摂食・嚥下障害のある患者に対して、摂食・嚥下に関する指導などを行っていますか。（1つに○）

(n=65)

1. 行っている	→問 31 へ進む	36.9%
2. 行っていない	→問 30-1 へ進む	63.1%
無回答		0.0%

問 30-1 問 30 で「2. 行っていない」と回答した方におたずねします。
行っていない理由はつぎのどれですか。（いくつでも○）

(n=41)

1. 知識がない	36.6%	4. 行うつもりはない	7.3%
2. 研修や勉強する場がない	9.8%	5. その他〔具体的に： 〕	34.1%
3. 一人で対応するのは不安	39.0%	無回答	0.0%

問31 医療と在宅ケアの間でどのようなことに苦労していますか。

問32 あなたは、介護従事者にどのようなことを期待していますか。(いくつでも○)

(n=65)

- | | |
|------------------------------------|-------|
| 1. 医療の知識を深めてほしい | 29.2% |
| 2. 介護職としての専門性や技術力を向上してほしい | 32.3% |
| 3. 本人及び介護現場の状況を積極的に医療職に伝える努力をしてほしい | 47.7% |
| 4. ケアマネジャーとの連携を密に行ってほしい | 36.9% |
| 5. その他〔具体的に： 〕 | 9.2% |
| 6. 特に期待はしていない | 4.6% |
| 無回答 | 13.8% |

【次は問 50 へ進んでください】

薬剤師の方におたずねします【問 33～問 37】

問33 あなたは、在宅患者訪問薬剤管理指導（居宅療養管理指導）の届出を行っていますか。(1つに○)

(n=23)

- | | |
|-----------------------|-------|
| 1. 行っている →問 33-1 へ進む | 73.9% |
| 2. 行っていない →問 33-4 へ進む | 26.1% |
| 無回答 | 0.0% |

問 33-1 問 33 で「1. 行っている」と回答した方におたずねします。あなたの薬局を利用されている方の中に、現在、在宅患者訪問薬剤管理指導（居宅療養管理指導）を利用している府中市民の方はいますか。(1つに○)

(n=17)

- | | | | |
|-----------------------------|-------|--------|-------|
| 1. いる →〔 〕人
(平均 65.67 人) | 17.6% | 2. いない | 76.5% |
| | | 無回答 | 5.9% |

問 33-2 あなたは、医師との連携はどのようにとっていますか。(1つに○)

(n=17)

- | | | |
|-------------------|-------------|-------|
| 1. 処方箋のみのやりとり | →問 34 へ進む | 35.3% |
| 2. 処方箋以外の連携や指示がある | →問 33-3 へ進む | 58.8% |
| 3. その他〔具体的に： 〕 | →問 34 へ進む | 5.9% |
| 無回答 | | 0.0% |

問 33-3 問 33-2 で「2. 処方箋以外の連携や指示がある」と回答した方におたずねします。具体的にどのような手段が用いられていますか。(いくつでも○)

(n=10)

- | | |
|--------------------------------|-------|
| 1. 診療情報の提供がある → (①文書 ②口頭 ③その他) | 90.0% |
| 2. 訪問 → (①医師を訪問 ②医師が薬局を訪問) | 70.0% |
| 3. 電話 | 60.0% |
| 4. ファックス | 20.0% |
| 5. 電子メール | 0.0% |
| 6. ケース会議・カンファレンスに参加 | 10.0% |
| 7. その他〔具体的に： 〕 | 0.0% |
| 無回答 | 0.0% |

問33-4 問33で「2. 行っていない」と回答した方におたずねします。あなたは、今後、在宅患者訪問薬剤管理指導の届出を行う計画がありますか。

(1つに〇)

(n=6)

1. 届出を行う計画がある	→平成〔 〕年	} →問34へ進む	0.0%
2. 検討中			33.3%
3. 届出を行う計画はない	→問33-5へ進む		66.7%
無回答			0.0%

問33-5 問33-4で「3. ない」と回答した方におたずねします。

その理由は次のどれですか。(いくつでも〇)

(n=4)

1. 時間がない	50.0%	6. 在宅の薬剤管理指導の対応	0.0%
2. 報酬が少ない	0.0%	がわからない	
3. 特に要請がない	50.0%	7. 自分がしなくてもいいと思う	0.0%
4. 保険請求がわからない	0.0%	8. 面倒である	0.0%
5. 在宅の薬剤管理指導が難しい	0.0%	9. その他〔具体的に： 〕	25.0%
ので不安		無回答	0.0%

問34 あなたは、府中市内で訪問診療を行う在宅療養支援診療所の処方箋をどのくらい取り扱っていますか。(1つに〇)

(n=23)

1. ある	→1か月平均〔 〕人 (平均 19.82人)	47.8%
2. ない		47.8%
無回答		4.3%

問35 あなたは、在宅で療養生活を送っている府中市民の方のケアマネジャーと連携していますか。(1つに〇)

(n=23)

1. 連携している	8.7%	3. 連携していない	69.6%
2. あまり連携していない	21.7%	無回答	0.0%

問36 医療と在宅の間で、どんなことに苦労していますか。具体的にお書きください。

問37 あなたは、介護従事者にどのようなことを期待していますか。(いくつでも〇)

(n=23)

1. 医療の知識を深めてほしい	0.0%
2. 介護職としての専門性や技術力を向上してほしい	17.4%
3. 本人及び介護現場の状況を積極的に医療職に伝える努力をしてほしい	43.5%
4. ケアマネジャーとの連携を密に行ってほしい	21.7%
5. その他〔具体的に： 〕	0.0%
6. 特に期待はしていない	4.3%
無回答	34.8%

【次は問50へ進んで下さい】

看護師の方におたずねします【問 38～問 41】

問38 あなたは日ごろ、在宅療養支援の活動をしていますか。(1つに〇)

(n=7)

- | | | |
|----------|-------------|-------|
| 1. している | →問 38-1 へ進む | 14.3% |
| 2. していない | →問 39 へ進む | 71.4% |
| 無回答 | | 14.3% |

問 38-1 問 38で「1. している」と回答した方におたずねします。どのような活動を行っていますか。(いくつでも〇)

(n=1)

- | | | |
|---|---|--------|
| 1. かかりつけ医（主治医）とケアマネジャーとの連携を図るための支援をしている | | 0.0% |
| 2. 患者の退院後の相談に応じている | | 0.0% |
| 3. 退院に関する情報を主治医、医療相談、看護師などの担当者間で共有している | | 100.0% |
| 4. 地域の介護職を交えた退院前（時）カンファレンスに加わっている | | 0.0% |
| 5. その他〔具体的に： | 〕 | 0.0% |
| 無回答 | | 0.0% |

問39 あなたは、介護関係者との情報交換の機会を確保していますか。(1つに〇)

(n=7)

- | | | |
|------------------|--|-------|
| 1. 確保している→1か月平均〔 | | 14.3% |
| 2. 確保していない | | 71.4% |
| 無回答 | | 14.3% |

問40 あなたは、介護保険制度及び介護保険サービスの内容についてどの程度習熟していますか。(1つに〇)

(n=7)

- | | | | |
|-------------|-------|----------------|-------|
| 1. 十分理解している | 0.0% | 3. あまり理解していない | 71.4% |
| 2. やや理解している | 14.3% | 4. まったく理解していない | 0.0% |
| | | 無回答 | 14.3% |

問41 あなたは、介護サービス従事者にどのようなことを期待していますか。

(いくつでも〇)

(n=7)

- | | | |
|------------------------------------|---|-------|
| 1. 医療の知識を深めてほしい | | 14.3% |
| 2. 介護職としての専門性や技術力を向上してほしい | | 42.9% |
| 3. 本人及び介護現場の状況を積極的に医療職に伝える努力をしてほしい | | 71.4% |
| 4. ケアマネジャーとの連携を密に行ってほしい | | 14.3% |
| 5. その他〔具体的に： | 〕 | 0.0% |
| 6. 特に期待はしていない | | 0.0% |
| 無回答 | | 14.3% |

【次は問 50 へ進んで下さい】

訪問看護師の方におたずねします【問 42～問 45】

問42 あなたは、在宅医療を実施している医療機関と、連携がとれていると思いますか。(①～③それぞれ1つに○)
(n=26)

	まったくとれていない	あまりとれていない	ある程度とれている	十分とれている	無回答
①在宅療養者の医療・看護に関する情報の交換	0.0%	19.2%	61.5%	15.4%	3.8%
②在宅療養者の急変時の対応	0.0%	15.4%	50.0%	30.8%	3.8%
③24時間の支援体制	11.5%	11.5%	50.0%	26.9%	0.0%

} 問 42-1 へ進む
} 問 43 へ進む

問 42-1 問 42 で1つでも「まったくとれていない」、「あまりとれていない」と答えた方におたずねします。その理由を、自由にお書きください。

問43 あなたは、どのようなことが在宅医療を阻害する要因であるとお考えですか。それぞれ優先度の高い順に 内に番号を記入してください。

① 患者・家族側について

(n=26)

1. 患者や家族が在宅医療を受入れることが難しい
2. 在宅医療に伴う家族の介護負担の大きい
3. 患者・家族の経済的な負担が大きい
4. 在宅医療に関する情報が不足している

無回答

第1位	第2位	第3位	第4位
23.1%	15.4%	19.2%	38.5%
23.1%	53.8%	23.1%	0.0%
7.7%	19.2%	30.8%	34.6%
42.3%	7.7%	23.1%	23.1%
3.8%	3.8%	3.8%	3.8%

第1位 第2位 第3位 第4位

② 入院患者を在宅医療へ移行させる病院側について

(n=26)

1. 入院患者を在宅医療につなげようとする意識が低い
2. 退院支援や在宅医療への移行をコーディネートする専門職の力量が不足している
3. 病院から診療所への逆紹介や患者への退院支援を行うための診療報酬が低い
4. 在宅医療を提供する医療機関に関する情報が不足している

無回答

第1位	第2位	第3位	第4位
38.5%	11.5%	19.2%	26.9%
34.6%	34.6%	23.1%	3.8%
0.0%	23.1%	23.1%	50.0%
23.1%	26.9%	30.8%	15.4%
3.8%	3.8%	3.8%	3.8%

第1位 第2位 第3位 第4位

③ 診療所側について

(n=26)

1. 診療所医師の在宅医療に対する熱意、療養生活全般を支える認識が不足している
2. 在宅医療を提供する人的資源などが不足している
(医師数・看護師数の不足、24時間対応するための協力体制や在宅医療の専門知識や技術が不足している)
3. 診療所が在宅医療を行うための診療報酬が低い
4. 診療所医師が活用できる在宅医療の社会資源情報が不足している

第1位	第2位	第3位	第4位
30.8%	26.9%	15.4%	15.4%
42.3%	34.6%	11.5%	0.0%
3.8%	7.7%	30.8%	46.2%
11.5%	19.2%	30.8%	26.9%
11.5%	11.5%	11.5%	11.5%

第1位 第2位 第3位 第4位

④ 訪問看護ステーション側について

(n=26)

1. 訪問看護師の在宅医療に対する熱意が低い
2. 訪問看護を提供する人的資源が不足している
(訪問看護師数の不足、24時間対応できる訪問看護体制の確保が困難、訪問看護業務の範囲が制限されているなど)
3. 訪問看護ステーションが訪問看護を行うための診療報酬が低い
4. 訪問看護師が活用できる在宅医療関連の社会資源情報が不足している

第1位	第2位	第3位	第4位
0.0%	3.8%	7.7%	84.6%
61.5%	19.2%	15.4%	0.0%
11.5%	38.5%	42.3%	7.7%
23.1%	34.6%	30.8%	3.8%
3.8%	3.8%	3.8%	3.8%

第1位 第2位 第3位 第4位

⑤ ケアマネジャー側について

(n=26)

1. ケアマネジャーの在宅医療に対する知識や経験が不足している
2. 在宅医療に精通したケアマネジャーの人的資源が不足している
3. ケアマネジャーと医療関係者の連携が十分ではない
4. ケアマネジャーが活用できる在宅医療関連の社会資源情報が不足している

第1位	第2位	第3位	第4位
23.1%	30.8%	19.2%	19.2%
23.1%	30.8%	23.1%	15.4%
26.9%	26.9%	23.1%	15.4%
19.2%	3.8%	26.9%	42.3%
7.7%	7.7%	7.7%	7.7%

第1位 第2位 第3位 第4位

問44 あなたは、在宅医療を実践するうえで、次の1.～5.についてどの状況の改善を優先すべきとお考えですか。優先度の高い順に 内に番号を記入してください。

(n=26)

1. 患者・家族側の状況が改善する
2. 患者を在宅医療へ移行させる病院側の状況が改善する
3. 在宅医療を担う診療所側の状況が改善する
4. 訪問看護を行う訪問看護ステーション側の状況が改善する
5. 介護サービスをコーディネートするケアマネジャー側の状況が改善する

第1位	第2位	第3位	第4位
26.9%	7.7%	7.7%	3.8%
30.8%	19.2%	23.1%	7.7%
30.8%	23.1%	15.4%	19.2%
0.0%	19.2%	26.9%	15.4%
3.8%	19.2%	15.4%	42.3%
7.7%	11.5%	11.5%	11.5%

第1位 第2位 第3位 第4位

問45 あなたは、介護従事者にどのようなことを期待していますか。(いくつでも○)

(n=26)

- | | |
|------------------------------------|-------|
| 1. 医療の知識を深めてほしい | 26.9% |
| 2. 介護職としての専門性や技術力を向上してほしい | 73.1% |
| 3. 本人及び介護現場の状況を積極的に医療職に伝える努力をしてほしい | 73.1% |
| 4. ケアマネジャーとの連携を密に行ってほしい | 53.8% |
| 5. その他〔具体的に： 〕 | 3.8% |
| 6. 特に期待はしていない | 0.0% |
| 無回答 | 0.0% |

【次は問50に進んでください】

医療ソーシャルワーカーの方におたずねします

【問46～問49】

問46 あなたは、どのような地域連携活動を行っていますか。(いくつでも○)

(n=6)

- | | |
|--|-------|
| 1. かかりつけ医（主治医）とケアマネジャーとの連携を図る窓口となっている | 83.3% |
| 2. 入院時から退院後の相談に応じている | 50.0% |
| 3. 退院に関する情報をかかりつけ医（主治医）、医療相談、看護師などの担当者間で共有している | 50.0% |
| 4. 地域の介護職を交えて退院前（時）カンファレンスを行っている | 50.0% |
| 5. その他〔具体的に： 〕 | 33.3% |
| 無回答 | 0.0% |

問47 貴医療機関における介護保険施設からの患者の受入れ、転帰（サービス中止）、施設に戻った人について、あなたが平成25年9月中に担当した人数をご記入ください。

(n=2)

	受入れ人数 〔平均〕	転帰人数 〔平均〕	施設に戻った 人数〔平均〕
①介護老人福祉施設	0.50 人	1.00 人	0.00 人
②介護老人保健施設	1.00 人	0.00 人	3.00 人
③介護療養型医療施設	0.00 人	0.00 人	0.00 人
④有料老人ホーム	1.50 人	0.00 人	0.00 人
⑤ケアハウス	0.00 人	0.00 人	0.00 人
⑥グループホーム	0.00 人	0.00 人	0.00 人

問48 あなたは、介護保険施設とどのように連携していますか。(いくつでも○)

(n=6)

- | | |
|-------------------------------------|-------|
| 1. 介護保険施設の医師から入所者の健康管理や処置の情報を入手している | 16.7% |
| 2. 介護保険施設に訪問診療や往診に行っている | 0.0% |
| 3. 介護保険施設と提携している | 0.0% |
| 4. 急変時に受け入れるベッドを確保している | 0.0% |
| 5. その他〔具体的に： 〕 | 16.7% |
| 無回答 | 66.7% |

問49 医療と在宅ケアの間で、どのようなことに苦労していますか。

**全員の方に、医療と介護の連携における
リハビリテーションについておたずねします**

問50 介護保険における「リハビリテーション」であなたが問題だと思うことは次のどれですか。(いくつでも○)

(N=202)

- | | |
|--|-------|
| 1. 訪問介護などの介護サービスでのリハビリテーションの理念が十分でないこと | 27.7% |
| 2. 通所・訪問など在宅でのリハビリテーションが十分でないこと | 32.2% |
| 3. 通所介護類似の通所リハビリテーションが行われていること | 12.4% |
| 4. 介護従事者にリハビリテーションの知識や情報が不足していること | 21.3% |
| 5. サービス提供事業者が少なく利用できないこと | 25.2% |
| 6. リハビリテーションの人材が不足していること | 40.6% |
| 7. その他〔具体的に： | 9.4% |
| 無回答 | 18.8% |

問51 医療・介護の連携における「リハビリテーション」の問題で、あなたが感じることは次のどれですか。(いくつでも○)

(N=202)

- | | |
|---------------------------------------|-------|
| 1. 医療・介護への連続するシステムが機能していないこと | 29.2% |
| 2. 在宅でのリハビリテーションが十分ではないこと | 32.2% |
| 3. リハビリテーションとケアの境界が明確にされていないこと | 20.3% |
| 4. リハビリテーション職までを含めた多職種連携が進んでいないこと | 24.8% |
| 5. 患者のリハビリテーションに関する情報が共有されていないこと | 27.7% |
| 6. リハビリテーションの効果測定基準が明確でないこと | 19.8% |
| 7. リハビリテーションを包括的に提供できる地域のリハビリ拠点が少ないこと | 29.7% |
| 8. その他〔具体的に： | 6.9% |
| 無回答 | 19.8% |

問52 医療・介護の連携における「リハビリテーション」について、日ごろお考えのこと、また、行政が果たす役割だと思うことを自由にお書きください。

地域包括ケアシステムに向けた 医療と介護の連携についておたずねします

問53 2025年に向けて地域包括ケアシステムの構築が求められていますが、その中で医療・介護の連携は最重要課題であるといわれています。あなたは、これから府中市で医療・介護の連携が進むために、どのようなことが必要だとお考えですか。((1) ~ (4) それぞれ2つまで〇)

(N=202)

(1) 連携の仕組みづくり (2つまで〇)

- | | |
|---------------------------------------|-------|
| 1. 多職種との顔の見える関係づくり、交流を進める | 45.5% |
| 2. 府中市内に包括的な医療介護の連携拠点を整備する | 44.1% |
| 3. 医療介護の療養連携共通シートをつくる | 20.8% |
| 4. 患者の情報などをネットうえで共有するツールを開発する | 11.9% |
| 5. 摂食・嚥下、緩和ケア、認知症の初期集中支援などの多職種チームをつくる | 23.3% |
| 6. その他〔具体的に： _____〕 | 1.5% |
| 無回答 | 12.4% |

(2) 地域の人材育成 (2つまで〇)

- | | |
|----------------------------------|-------|
| 1. 医療・介護の相互理解のための専門研修を進める | 40.1% |
| 2. 栄養士、歯科衛生士なども含めた専門職の人材把握・発掘を行う | 24.3% |
| 3. 多職種が参加して学ぶ事例検討会や学習会を増やす | 34.2% |
| 4. 在宅医療や介護予防に関心のある地域活動リーダーを増やす | 18.3% |
| 5. 在宅医療を担う訪問看護師などの人材育成を進める | 28.2% |
| 6. その他〔具体的に： _____〕 | 0.5% |
| 無回答 | 13.9% |

(3) サービス・基盤整備 (2つまで〇)

- | | |
|--------------------------------------|-------|
| 1. 随時対応の訪問介護看護などの在宅サービスを充実させる | 29.2% |
| 2. 病院による、在宅療養の後方支援の仕組みを充実させる | 37.1% |
| 3. 独居の方や医療依存度の高い方が在宅で暮らせる支援策を充実する | 32.2% |
| 4. 医療や介護を受けながら住み続けられる高齢者の住まいを充実する | 32.2% |
| 5. 要介護認定の簡素化など末期がん患者などのサービス利用をしやすくする | 20.3% |
| 6. その他〔具体的に： _____〕 | 0.5% |
| 無回答 | 12.9% |

(4) 相談支援・情報提供 (2つまで〇)

- | | |
|------------------------------------|-------|
| 1. 府中市に在宅療養支援相談窓口を設置する | 47.0% |
| 2. 地域包括支援センターに医療連携相談員・支援員を設置する | 38.6% |
| 3. かかりつけ医をサポートする専門医制度をつくる | 19.3% |
| 4. 講座などを開き、市民の「在宅療養」や「看取り」への関心を高める | 16.3% |
| 5. 府中市内の医療・介護や福祉に関する社会資源マップを作成する | 21.8% |
| 6. その他〔具体的に： _____〕 | 2.0% |
| 無回答 | 14.9% |

問54 最後に、在宅療養者に対する医療や介護サービスのあり方、その他介護・医療保険制度などを含め、医療・介護の連携についてのご意見、ご要望などがございましたら、ご自由にお書きください。



——ご協力ありがとうございました——